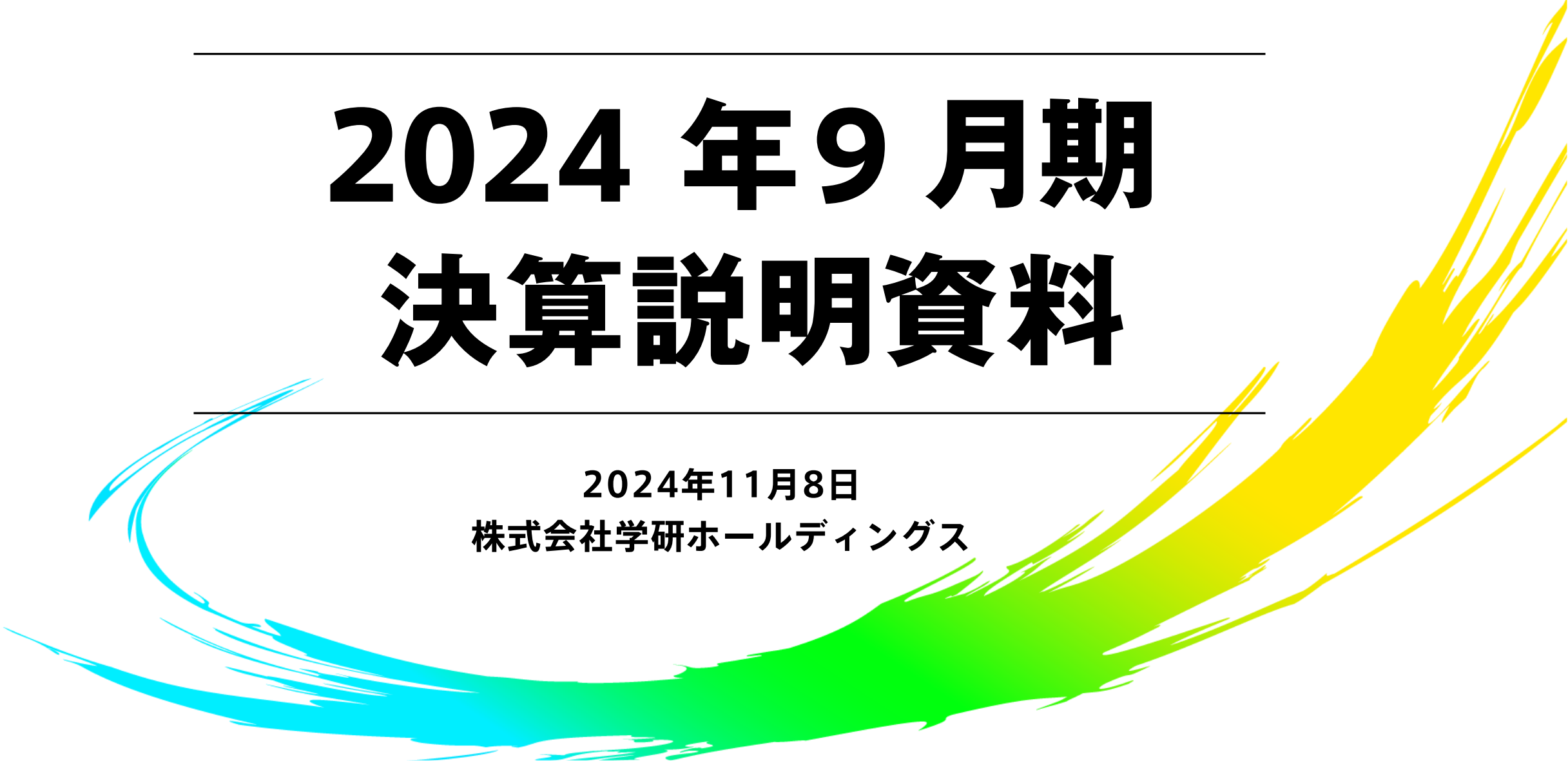

2024 年9 月期 決算説明資料

2024年11月8日
株式会社学研ホールディングス



INDEX

2024年9月期	決算概要		P.05
教育分野	業績		P.16
医療福祉分野	業績		P.21
「Gakken2025」	進捗		P.23
決算補足資料			P.37

2024年9月期 決算 エグゼクティブサマリー

～前年に対し大幅増収増益を実現する一方、更なる成長に向け積極的な投資も継続～

売上高

1,855 億円

前期比 +13.1% ↗

営業利益

68.8 億円

前期比 +11.5% ↗

経常利益

69.0 億円

前期比 +6.6% ↗

当期純利益

22.6 億円

前期比 △29.2% ↘

連結売上高：医療福祉分野の伸張と、小学校向け教科書の改訂、市進ホールディングス、グランユニライフケアサービス等の連結化により前期比13.1%増収

営業利益：教室事業、出版事業は厳しさ続くも、医療福祉分野並びに、利益率が高い語学・社会人教育事業、学校教育事業の伸張により同11.5%増益

経常利益：営業利益の増加により同6.6%増益

当期純利益：売却損、減損の影響大きく、特別損失△23億円で29.2%減益

ROE改善策：総額20億円の自社株買い実施（2月完了）

中計進捗：中計テーマである『SHIFT』活動の進捗は順調。1年目は当期純利益以外は計画達成

2025年9月期 事業計画

～中期計画最終年度の財務目標の変更なし～

売上高

2,000 億円

当期比 +7.8% ↗

営業利益

70.0 億円

当期比 +1.7% ↗

経常利益

72.0 億円

当期比 +4.3% ↗

当期純利益

35.0 億円

当期比 +54.8% ↗

連結売上高：医療福祉分野の伸張と、語学・社会人事業、グローバル事業を中心に増収を加速する計画

営業利益：増収に加え、組織構造改革の遂行と24年9月期の損失処理実施により、増益を目指す

当期純利益：35億円（当期比+54.8%）までの増益を計画

ROE改善策：当期純利益の増加と自社株買い実施により、ROEは2024/9期4.3%⇒2025/9期6.6%の改善を見込む

2024年9月期 決算概要

2024年9月期 決算 連結業績サマリー

売上高

1,855 億円
前期比
+13.1% ↑

医療福祉の好調と市進ホールディングス、グランユニライフケアサービス等の連結化により増収続く

営業利益

68.8 億円
前期比
+11.5% ↑

医療福祉分野、語学・社会人教育事業、小学校教科書改訂が寄与

経常利益

69.0 億円
前期比
+6.6% ↑

営業利益増により増益

EBITDA*1

111.6 億円
前期比
+19.8% ↑

営業利益の増加に加えて、償却額増加により、100億円超となる

当期純利益*2

22.6 億円
前期比
△29.2% ↓

特別損失△23.5億円計上で減益

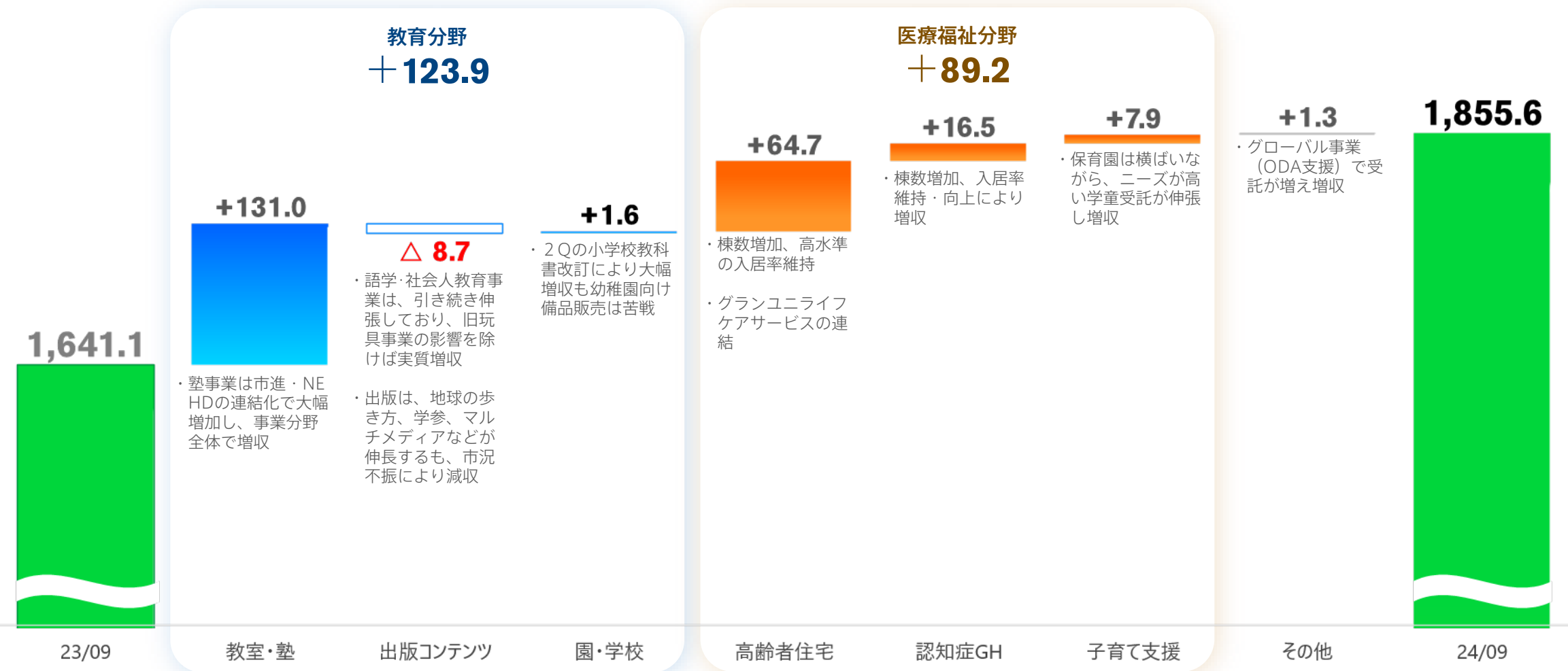
*1営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算

*2親会社株主に帰属する当期純利益

売上高 増減分析

単位：億円

教育分野は市進HD・NEHDの連結効果と教科書改訂で増収。医療福祉分野は施設増と入居率の維持・向上で増収



営業利益 増減分析

単位：億円

教育分野は小学校教科書改訂並びに語学・社会人教育がけん引、医療福祉分野は高齢者住宅事業が増益確保



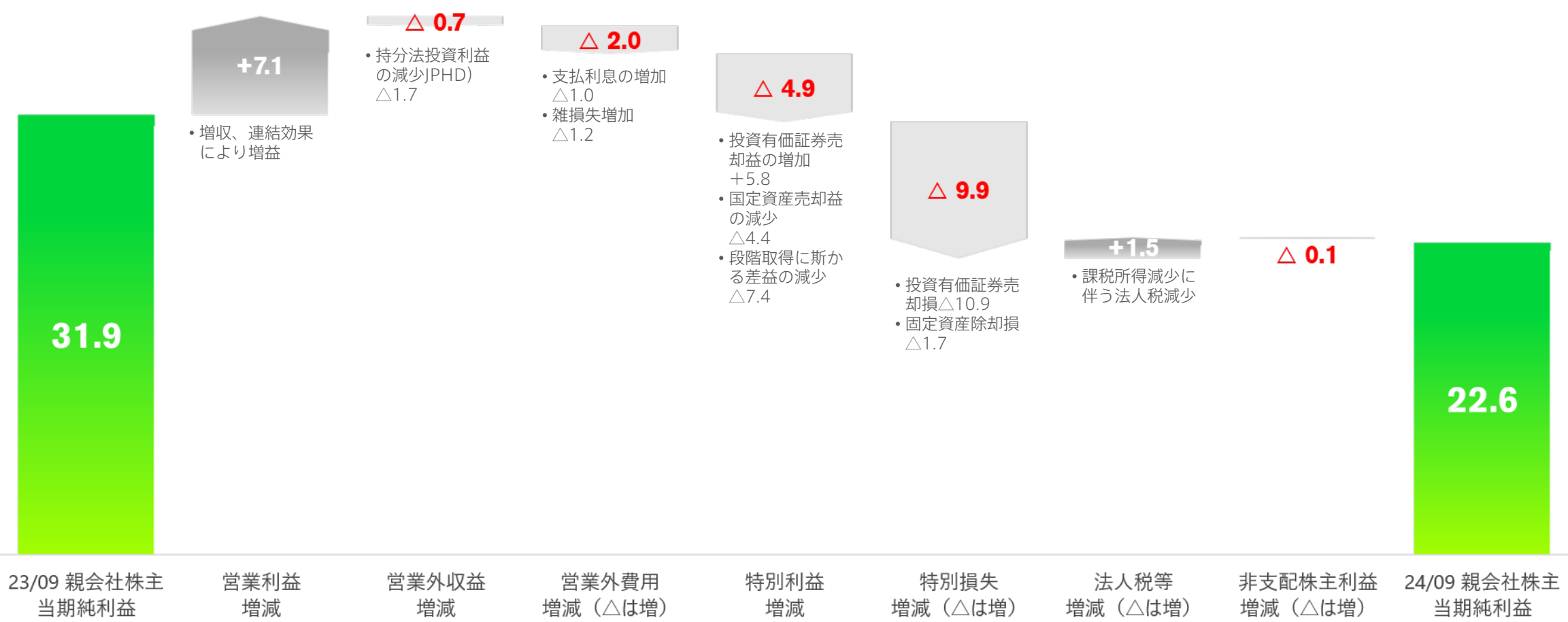
*市進の介護福祉サービス事業は前期：認知症GH事業、当期：教室・塾事業に算入

単位未満は切捨て

親会社株主に帰属する当期純利益の増減分析

単位：億円

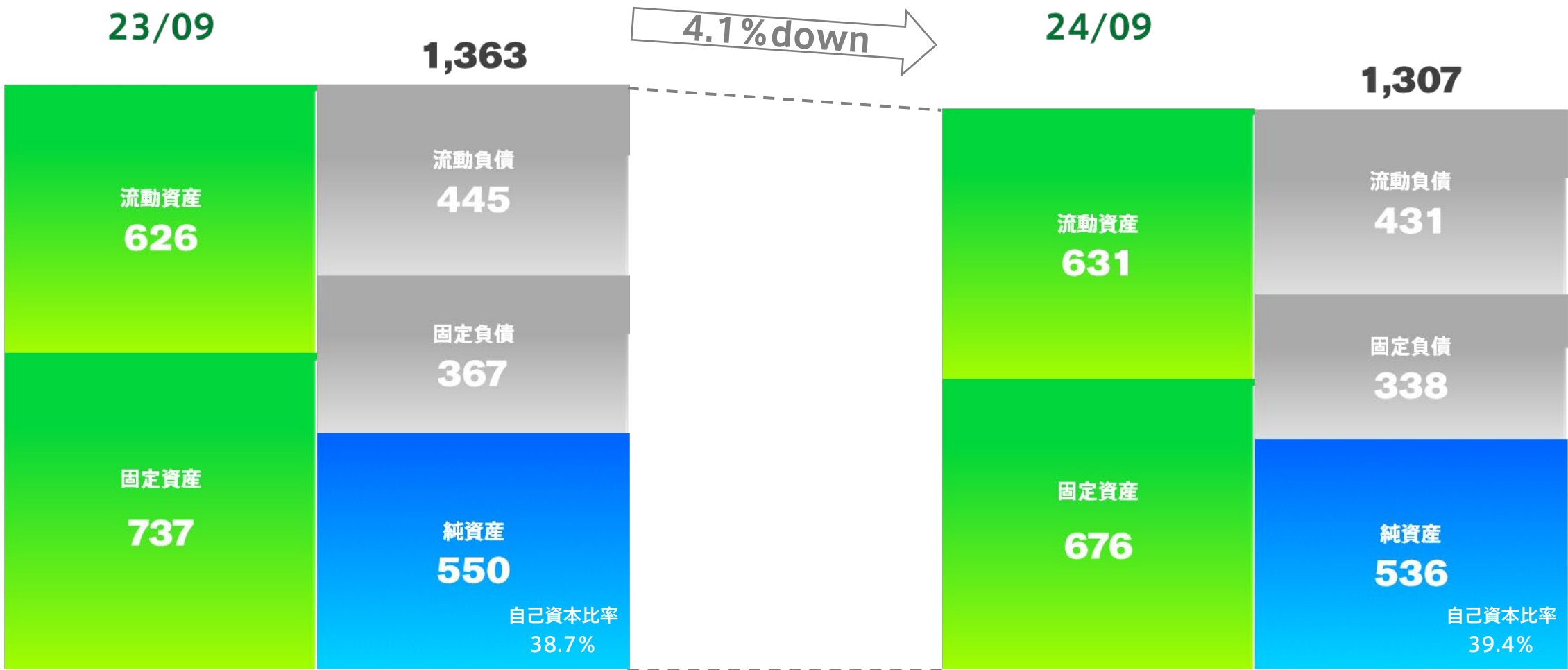
営業利益は増加したが、ポートフォリオの入替えや構造改革を積極的に進め、親会社株主に帰属する当期純利益は一時的に減少



連結財政状態

単位：億円

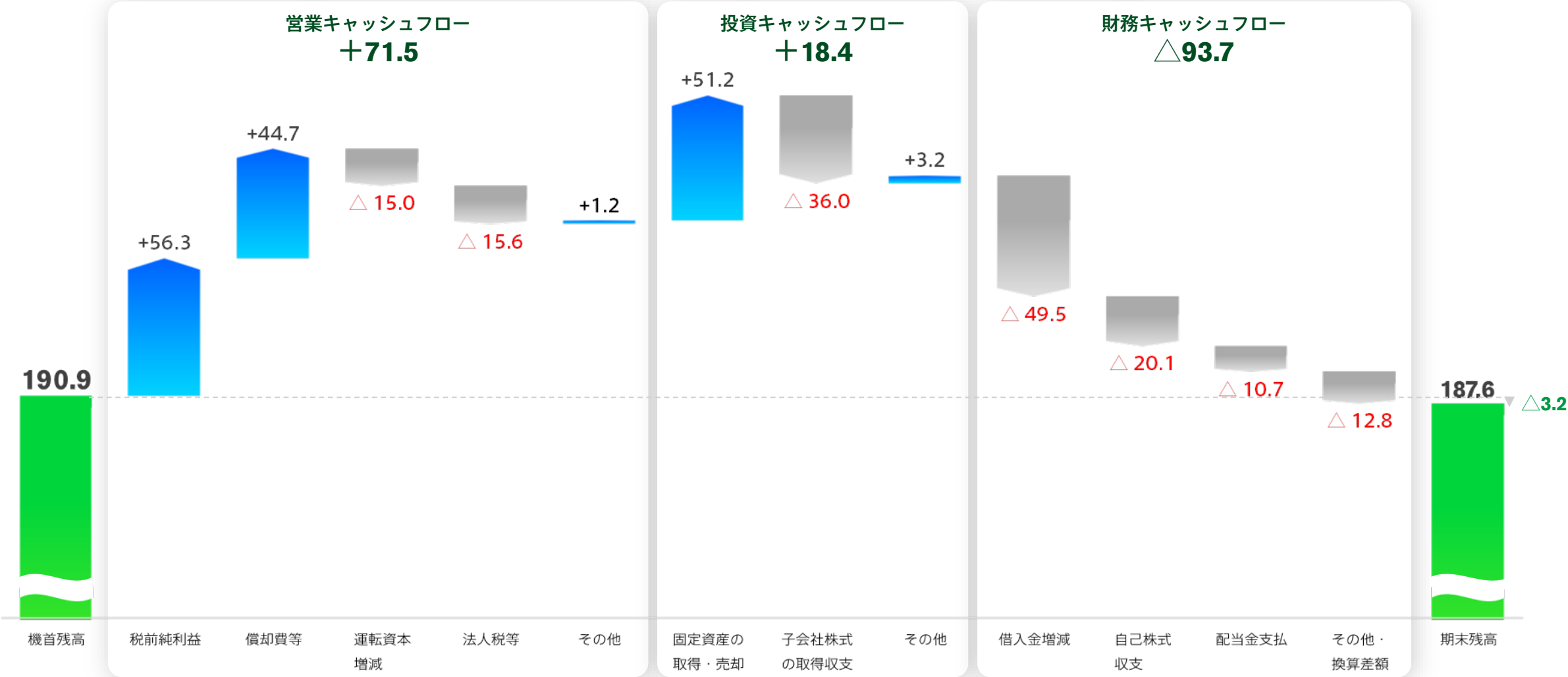
投資有価証券を中心に固定資産を削減し、総資産は4.1%の減少
自社株買い20億円実施するも、自己資本比率は39.4%と改善



連結キャッシュフロー

単位：億円

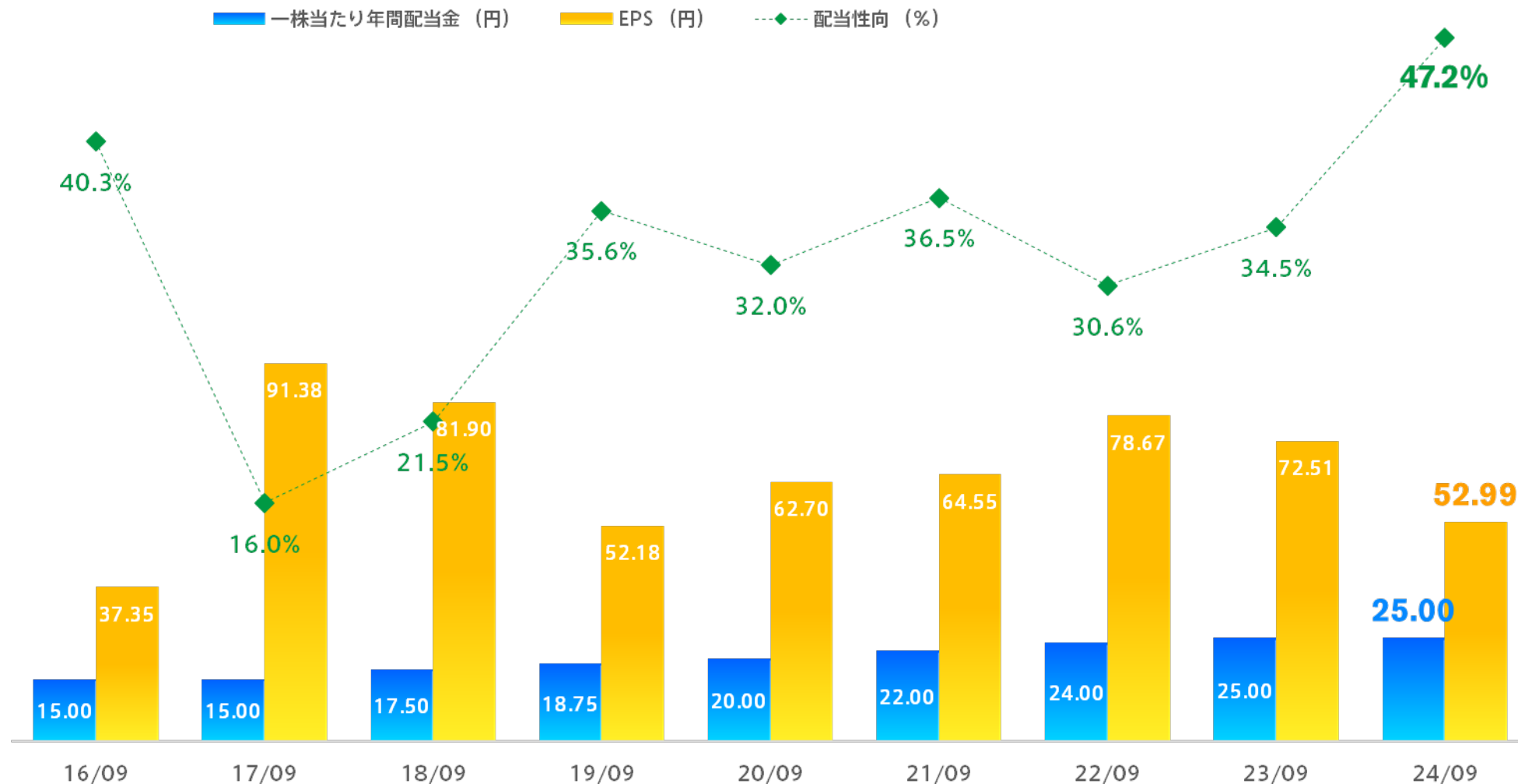
営業キャッシュフローは償却前利益の増加で+71.5億円。JPHD株式売却により投資キャッシュフローは+18.6億円、自社株買いと借入金返済で財務キャッシュフローは△93.7億円となり、現預金は△3.2億円減少



単位未満は切捨て

EPSと年間配当金の推移

EPS（一株当たり当期純利益）は減少するも、年間配当金を維持した結果、配当性向は47.2%に上昇
今後はEPSの増加を実現し、株主還元の向上に努める



*2017年4月に10：1の株式併合、2020年4月に1：4の株式分割を実施しており、2021/9期以前の数字はこれら影響を修正しております。

Gakken 2025 計画数値

単位：億円

グループ連結	2024年9月計画	2024年9月実績	2025年9月計画
売上高	1,850	1,855	2,000
教育分野	920	918	980
医療福祉分野	870	875	920
その他	60	61	100
営業利益	64	68	70
教育分野	49	41	42
医療福祉分野	42	42	45
その他（含む調整）	-27	-15	-17
EBITDA	96	111	113
経常利益	66	69	72
当期利益	27	22	35
ROE	5.2%	4.3%	6.6%

単位未満は切捨て

2025年9月期 セグメント別業績計画

単位：億円

セグメント 事業	2024年9月期 実績		2025年9月期 計画		増減 (対前期)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
教育分野	918	41	980	42	+61	+0
教室・塾	528	19	540	21	+11	+1
出版コンテンツ	263	21	280	24	+16	+2
園・学校	127	4	160	1	+33	-3
のれん	—	-4	—	-4	—	0
医療福祉分野	875	42	920	45	+44	+3
高齢者住宅	424	24	448	27	+23	+2
認知症グループホーム	379	22	400	24	+20	+1
子育て支援	70	1	72	1	+1	0
のれん	—	-6	—	-7	—	-0
その他	61	5	100	12	+38	+6
調整額	—	-19	—	-29	—	-9
グループ合計	1,855	68	2,000	70	+144	+1

2025年9月期の株主還元方針

ステイクホルダーへの還元強化を継続

株主還元の基本方針

配当性向 30%以上

自己資本比率を踏まえた機動的な株主還元

	2024年9月期の実績	2025年9月期の方針
年間配当	25円 (配当性向47.2%)	26円 (配当性向30%以上)
自己株式取得	20億円 実施	10億円 実施予定

教育分野 業績

幅広く子どもたちの学習を支援する3事業を展開。社会人向けのサービスも拡充しています。

- 1)教室・塾事業…………… 日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営
- 2)出版コンテンツ事業… 児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等の制作・販売
- 3)園・学校事業…………… 幼保園等への物販や教科書・学校向け教材の制作・販売

教育分野 サブセグメント及び事業構成の見直し

旧：2023年9月期まで

新：2024年9月期から

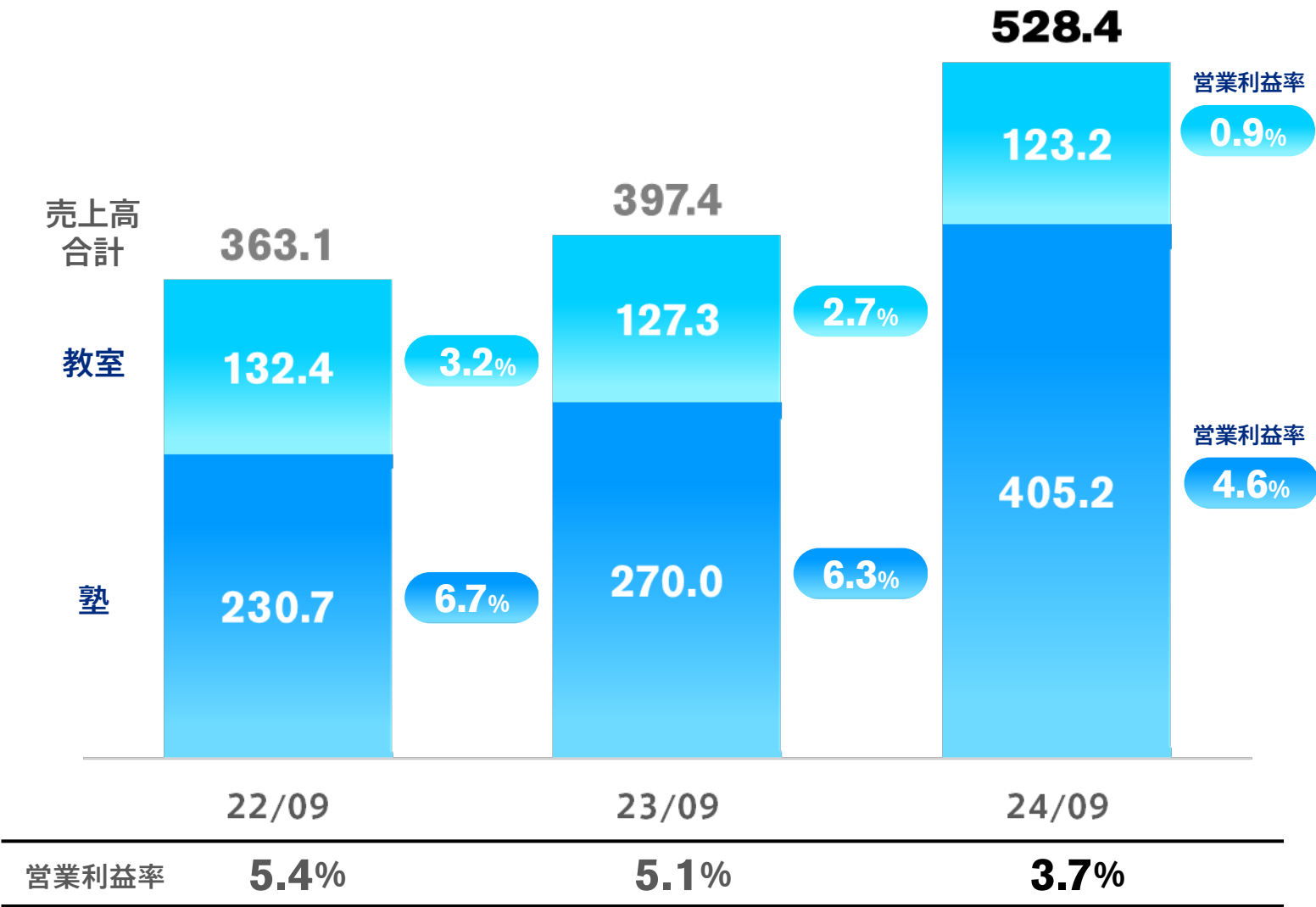
セグメント	サブセグメント	主な事業
教室・塾	教室	・ 幼児教室・学研教室事業 ・ 教室向けデジタルサービス運営
	塾	・ 塾運営事業 ・ ViSC運営
出版コンテンツ	出版	・ 一般出版事業 (児童書・学参書・実用書・地図ガイドほか) ・ 塾向け出版事業
	出版以外	・ 体験型英語施設運営 ・ オンライン英会話事業 ・ (株)学研ステイフル 知育玩具事業 →2023/9期 4Qより持分法適用関連会社に変更
	医学看護	・ 専門書出版事業 (医書・看護書) ・ 看護師eラーニング事業
園・学校	幼児	・ 園向け物販事業
	学校	・ 小・中教科書事業 ・ 高校向け小論文添削事業 ・ その他学校向けサービス各種
	社会人	・ 企業向け研修事業

セグメント	サブセグメント	主な事業
教室・塾	教室	・ 幼児教室・学研教室事業 ・ 教室向けデジタルサービス運営
	塾	・ 塾運営事業 ・ ViSC運営 ・ 市進ホールディングス* ・ 塾向け出版事業
出版コンテンツ	出版	・ 一般出版事業 (児童書・学参書・実用書・地図ガイドほか) ・ 専門書出版事業 (医書・看護書)
	NEW 語学・社会人教育	・ 看護師eラーニング事業 ・ オンライン英会話事業 ・ 体験型英語施設運営 ・ 企業向け研修事業
園・学校	幼児	・ 園向け物販事業
	学校	・ 小・中教科書事業 ・ 高校向け小論文添削事業 ・ その他学校向けサービス各種

*市進ホールディングスの介護サービス事業は医療福祉分野認知症グループホーム事業から移管

教室・塾事業*通期業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- 市進ホールディングス・エヌイーホールディングスの連結化に伴い増収
- 塾グループ全体で教室数が増加
- 教室事業の年間新設数が980施設

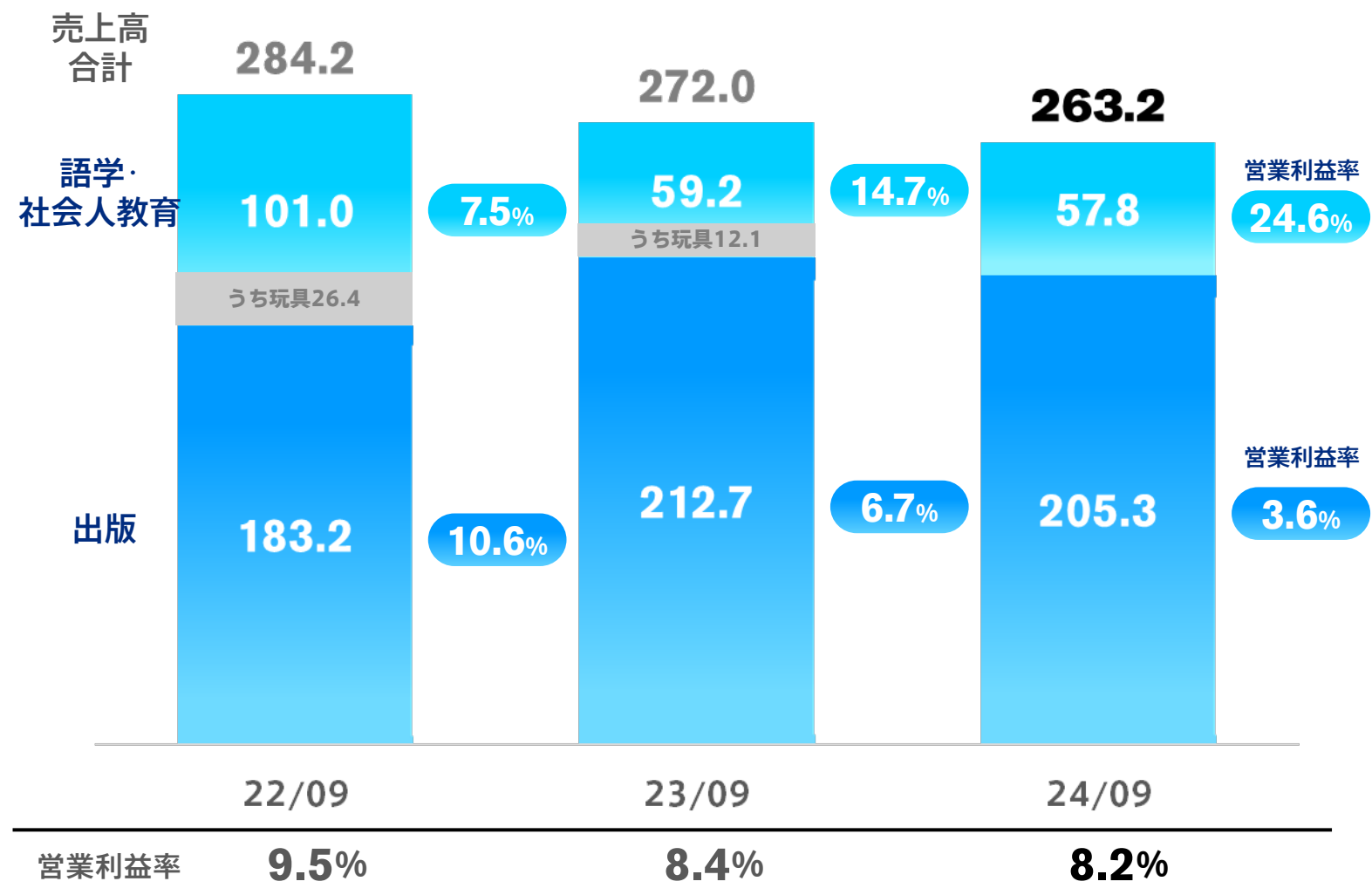
ネガティブ要素

- 幼児教室会員数の伸び悩み
- 教材出版事業における期末評価減により売上原価増加

*塾事業は市進ホールディングスの2024年2月期第3～4四半期（9～2月）と2025年2月期第1～2四半期（3～8月）の業績を取り込んでいます。

出版コンテンツ事業 通期業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

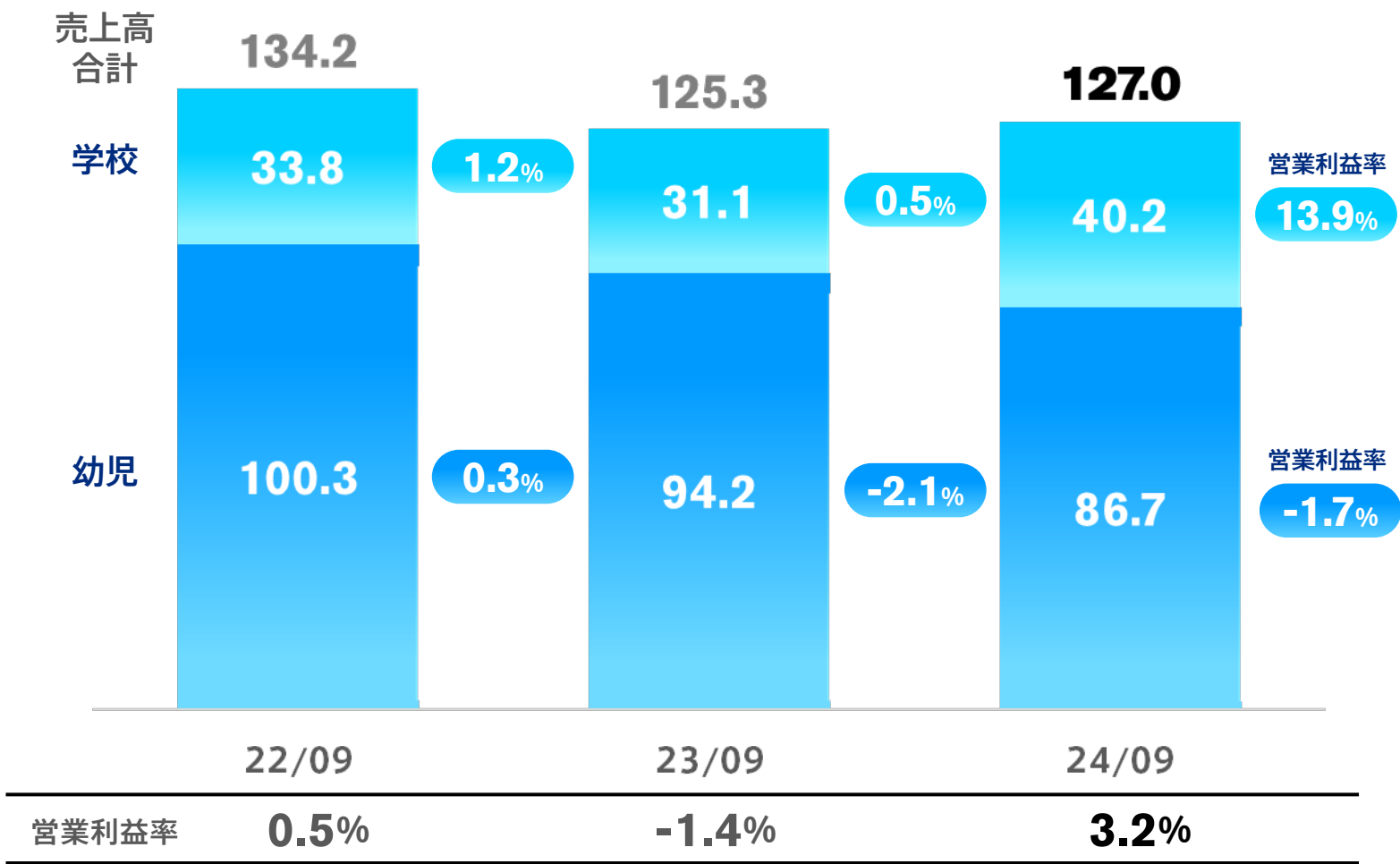
- 第3四半期に続き、第4四半期も返品率が前年同期比で改善 (△0.8%pt.)
- 看護師eラーニング事業の業績順調
- オンライン英会話事業も好調で有料会員数が増加中

ネガティブ要素

- 期中累計返品率は27.5%⇒28.8%に悪化
- 期末在庫の評価減等により売上原価増加

園・学校事業 通期業績サマリー

単位：億円



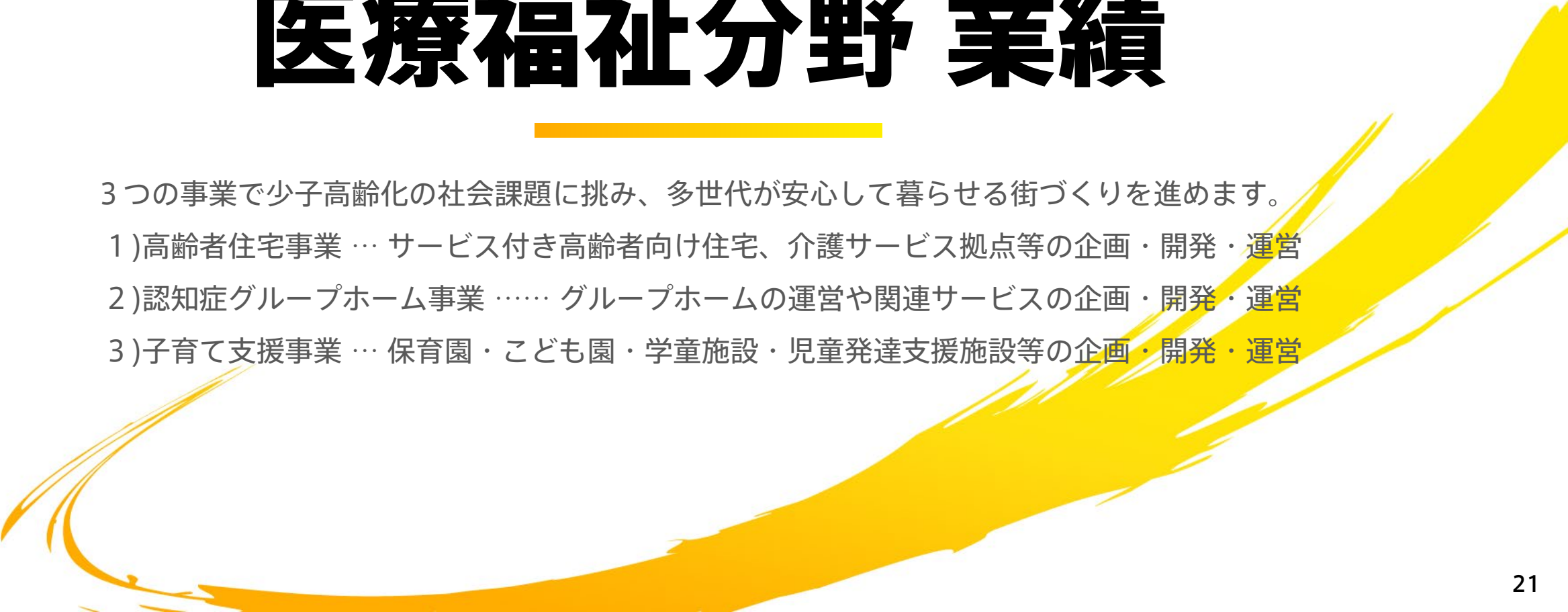
ポジティブ要素

- 小学校教科書改訂に伴い、指導書やデジタル教科書、副読本販売部数が増加
- 幼児事業では経費削減により赤字縮小

ネガティブ要素

- 新設園減少並びに、設備投資を抑える傾向あり、園向け大型遊具・備品受注が回復せず
- 補助金減少、需要低迷により先生向けエプロンなどオリジナル商品の販売不振

医療福祉分野 業績

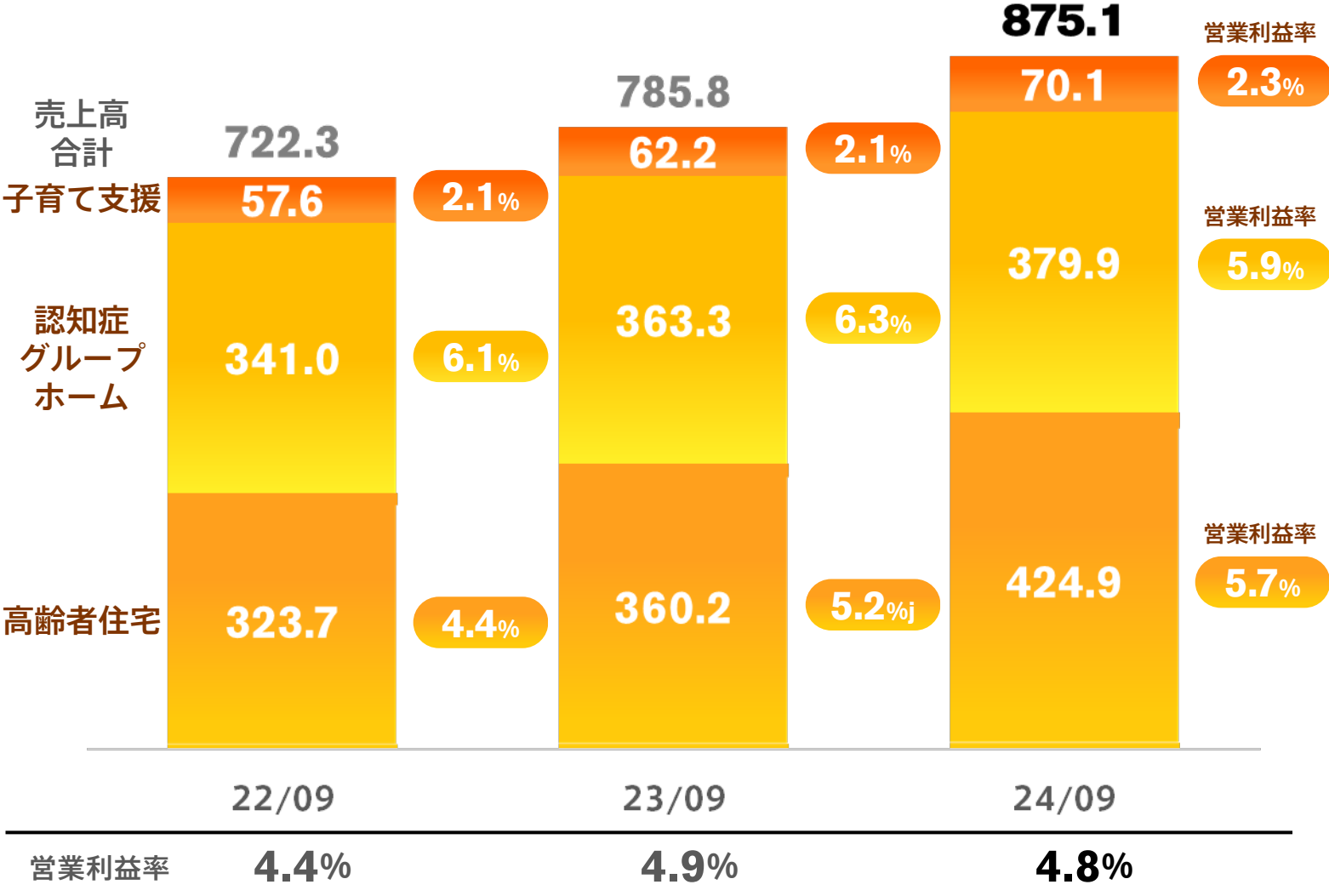


3つの事業で少子高齢化の社会課題に挑み、多世代が安心して暮らせる街づくりを進めます。

- 1) 高齢者住宅事業 … サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営
- 2) 認知症グループホーム事業 …… グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営
- 3) 子育て支援事業 … 保育園・こども園・学童施設・児童発達支援施設等の企画・開発・運営

医療福祉分野 通期業績サマリー

単位：億円



ポジティブ要素

- ・ グランユニライフケアサービス連結
- ・ 新規開設順調（4Q累計）
 - 高齢者住宅（+27事業所）
 - 認知症GH（+15事業所）
- ・ 入居率、充足率は高水準で推移
 - 高齢者住宅 97.8%
 - 認知症GH 96.7%
 - 保育園 96.0%

ネガティブ要素

- ・ 建設費高騰に伴い、オーナーには新規開設に慎重な姿勢も
- ・ 食材費等の物価高騰に伴うコスト増
- ・ 水光熱費の再上昇

Gakken2025 進捗

A large, expressive green brushstroke that starts from the bottom left and sweeps upwards and to the right, ending near the top right corner of the slide. It has a textured, painterly appearance with varying shades of green.

Gakken 2025 テーマ「SHIFT」

**Gakken
2023**

「揺るぎない成長基盤の確立」
—DX加速とグローバル展開—

教育

新たな学びの創出と
多様な学習機会の創出

医療
福祉

トップカンパニーを目指し
持続可能な街づくりに貢献

2021-2023

**Gakken
2025
SHIFT**

Gakken2023の積残し課題を解決し
新たなステージにはずみをつける

教育

重点領域の再強化と
新規事業への挑戦

医療
福祉

トップカンパニーに向けての
医療福祉事業の深化と
サステナビリティの追求

2024-2025

**Gakken
2030
Aspiration**

人の可能性を
どこまでも追求する会社へ

2026-2030

設立
80周年

Gakken 2025 のグループ戦略



Gakken 2025 重要指標

グループ財務指標 単位：億円

2024年9月期	計画	実績	
売上高	1,850	1,855	➡
営業利益	64	68	➡
営業利益率	3.4%	3.7%	➡
当期利益率	1.4%	1.2%	➡
ROE	5.2%	4.3%	➡
配当性向	38.6%	47.2%	➡
EBITDA	96	111	➡

セグメント 単位：億円

2024年9月期	計画	実績	
教育分野			
売上高	920	918	➡
営業利益	49	41	➡
医療福祉分野			
売上高	870	875	➡
営業利益	42	42	➡
その他（含む調整額）			
売上高	60	61	➡
営業利益	-27	-14	➡

Gakken 2025 領域別テーマおよび進捗

コーポレート・ トランスフォーメーション

グループの結束

学研グループを体現するコーポレート
アイデンティティの共感と浸透

人的投資

多才な人材の採用強化と多様な
学び・経験の場を通じた人材育成

デジタル基盤

各社の事業戦略を実現するデジ
タル人材、システム基盤の整備

財務戦略

投資機会を逃さない財務基盤の
確立と収益モニタリングの高度化

管理業務効率化

グループの管理業務効率化と
固定費圧縮

教育

教室・塾

規模拡大と学習機会の多様化
(M & A、オンライン形態の拡充等)

出版コンテンツ

・ 幼児・学参でのシェア拡大
・ 国内外におけるIP戦略の強化

園・学校

・ 幼児事業におけるシェア拡大
・ 小中教科書シェア堅持

医療福祉

高齢者住宅

・ 特色ある高付加価値施設の拡充
・ 入居率の高位安定化

認知症グループホーム

・ 需要拡大に向けた拠点開発
・ 介護福祉周辺サービスの強化

子育て支援

・ 質の高い保育の提供
・ 多様化する支援ニーズへの対応

重点成長領域

グローバル

・ 学研教室のグローバル展開
・ 東南アジア・中国への事業拡大

語学

・ オンライン学習サービスの拡充
・ 書籍とコンテンツの制作連携

リカレント・リスキリング

・ サービスラインナップの拡充
・ 法人向けサービスの付加価値向上

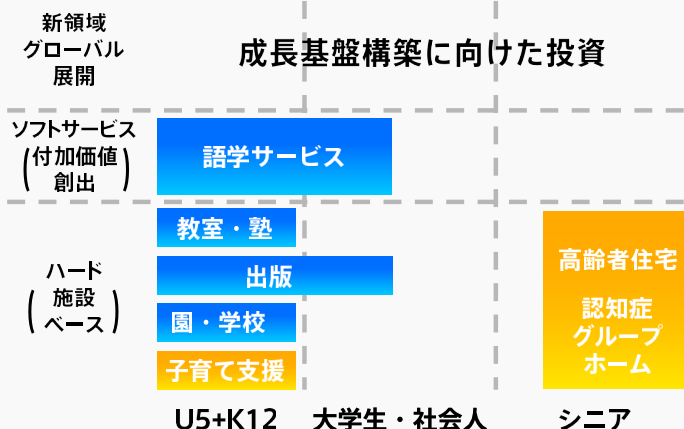
デジタル

・ コアプロダクトへの重点投資
・ グループケイパビリティの強化

事業ポートフォリオの「SHIFT」

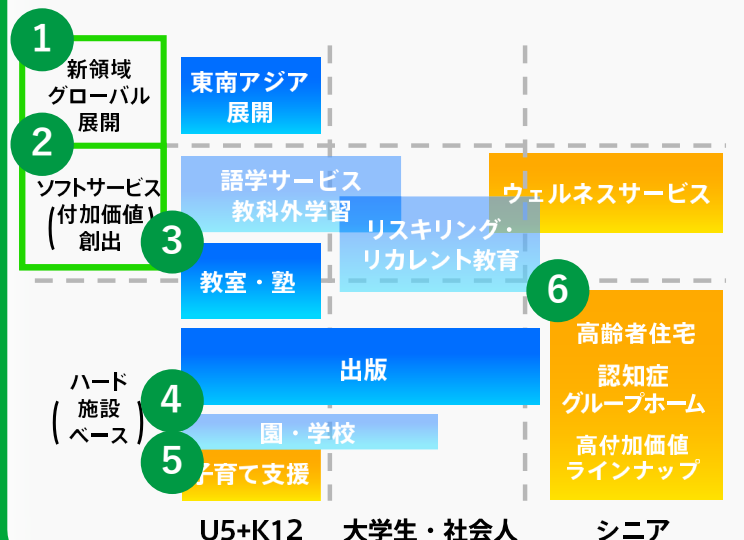
これまでの
取り組み

経営体制の刷新と
変化への体制づくり



2025

ポートフォリオの整理・転換
成長領域へのリソースシフト



Gakken2025の主な進捗

- 1 DTP社との連携強化
- 2 (株)レアジョブとのパートナーシップ
- 3 講談社こども教室事業の譲受
- 4 (株)桐原書店の株式取得
- 5 園事業の再編 (株)Gakken SEED設立
- 6 (株)グランユニライフケアサービスのM&A

① DTP社との連携強化

ベトナムDTP社との資本業務提携を発展させ、東南アジア市場への拡大を加速



出版事業

教科書/学習参考書/補助教材
- 重点領域：新規科目の展開による成長加速

スクーリング事業

学校の課外授業の受託運営
- 重点領域：対象学年の拡大による成長加速

その他事業

幼児向け出版、STEAM教育、アセスメント
- 重点領域：学研グループとの連携による強化

これまでの取組



STEAMサービスや幼児
向け書籍のベトナム展開

書籍販売事業

幼児向け書籍
(絵本・ワークブック等)

Schooling事業

STEAM教育

今後の取組



ベトナム国内および東南
アジアにおける事業強化

展開エリアを拡大

② (株)レアジョブとのパートナーシップ

英語学習関連の多彩なソリューションを有する (株) レアジョブと資本業務提携



具体的な 協業分野

Gakken2025 教育分野の重点戦略

新領域の強化（リカレント・リスキリング、語学）

- ① オンライン英語事業
- ② 学校教育市場における協業
- ③ 資格事業の協働開発・運営の検討
- ④ 教育のデジタル化に向けた共同開発、人材融合の開始

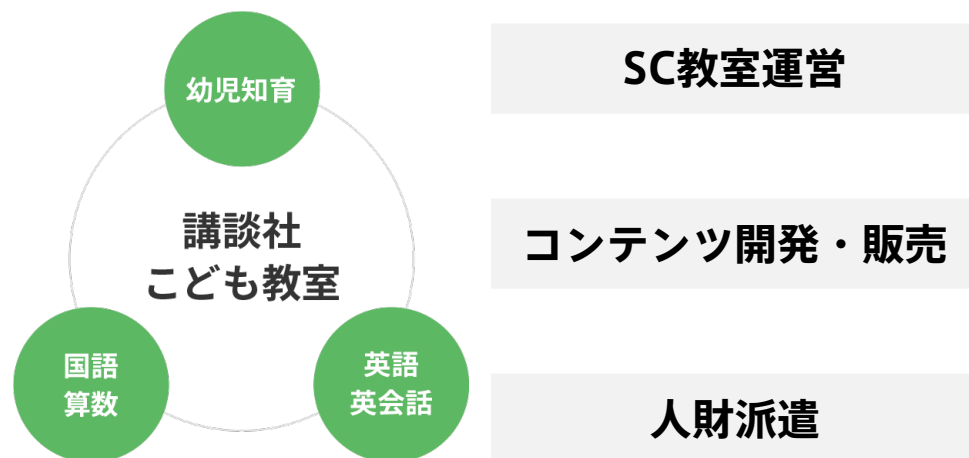
③ 講談社こども教室事業の譲受

事業譲受によりショッピングセンター内の学習施設拠点数は業界第2位に到達

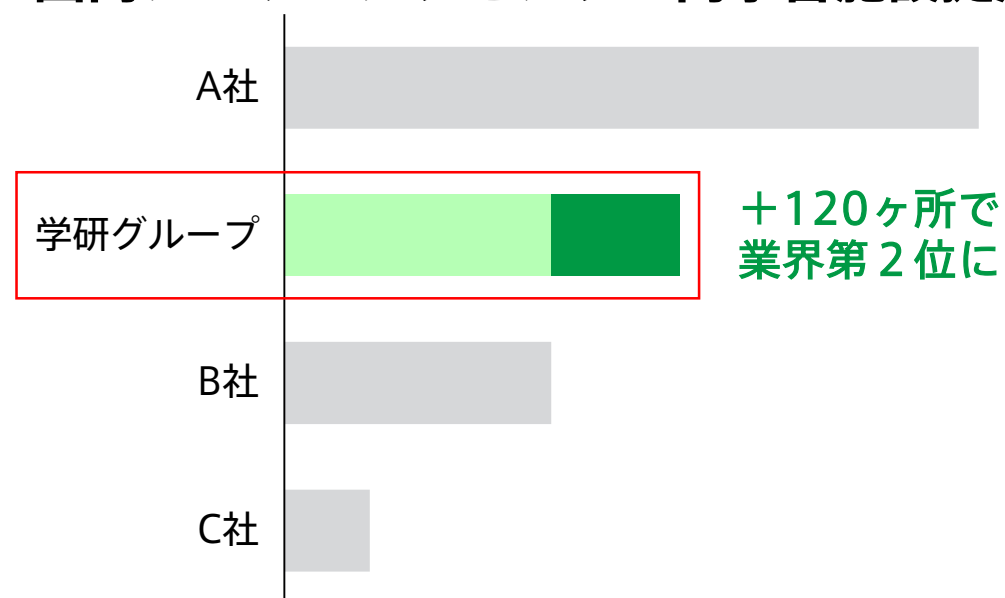
学研Linkの設立

講談社グループからの事業譲受を経て会社新設

幼児向け知育・英語教育サービスを
全国25都道府県・120ヶ所で展開



国内ショッピングセンター内学習施設拠点数



注力領域

- ・0歳～小学生の会員増加とグループ連携の推進
- ・グローバル展開を見据えた幼児向け教材の開発
- ・保育士・幼稚園教諭の再就職支援

4 (株)桐原書店の株式取得

多様化する学習ニーズを満たす提供価値の拡充のためM & Aを実施

桐原書店のグループイン



事業内容：検定教科書や学習参考書等の出版
-英語・国語の高校向け教材が中心

語学領域を中心に各チャネルへの提供サービスを拡充

対応が求められるテーマ

新たな学習のニーズへの対応

- ・小論文・プレゼンテーション
- ・語学検定
- ・探究学習

学研グループとの連携領域

両社ネットワークの融合

- ・商品/コンテンツ開発の協働
- ・学校/出版チャネルの連携
- ・出版事業の業務効率化

グループインの効果

高校市場の競争力向上

- ・高校教科書事業への参入
- ・語学事業の開発力強化
- ・小論文事業の拡大・強化

5 園事業の再編 (株)Gakken SEEDの設立

競争力の強化にあたって、最適な構造への組み換えを実施

園事業の再編

専業会社への統合

Gakken SEED

- ・商品開発機能
- ・園直販機能
- ・サービス開発機能
- ・販売代理促進機能



吸収分割後に商号変更

(株) 学研エリア
マーケット

(株) Gakken
幼児教育事業本部

市場環境への対応を図るグループ事業再編



園児用月刊誌



園用遊具



保育者向け商品



ダイレクトマーケティング

⑥ (株)グランユニライフケアサービスのM & A

高付加価値施設や多世代交流など特色あるアセットの拡充を推進

グランユニライフケアサービスのグループイン (15拠点)



入居率：1年間で91%→97%へ上昇



グランメゾン迎賓館シリーズ

サービス付き高齢者向け住宅

介護付き有料老人ホーム

グループホーム

訪問看護

サステナビリティ推進への取り組み

ESG指標の改善・向上

2024年7月に、ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みに優れた日本企業の株式のパフォーマンスを示すインデックスである「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に初めて選定。他のESG指数にも採択されるよう、引き続き取り組んで参ります。



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

【FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexについて】

FTSE Blossom Japan Indexシリーズは、ロンドン証券取引所グループ傘下のFTSE Russell社が設計したESG投資指数です。「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスです。

なお、世界最大規模の公的年金基金である年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）もパッシブ運用のESG投資指数として同指数を採用しており、世界中の投資家から重要な投資判断基準として活用されています。

現在採択されているESG指数： S&P/JPX カーボンエフィシエント、FTSE Blossom Japan Sector Relative（本件）

*ZEB Ready取得への取組

事業成長とともに、サステナビリティへの取り組みを強化し、CO₂排出量の削減を目指す

【2025年9月期 ZEB Ready 取得】 見込4棟(218戸) 推進中3棟(194戸)

*ZEB Ready：ZEB（Zero Emission Building）を見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物（出典：環境省）

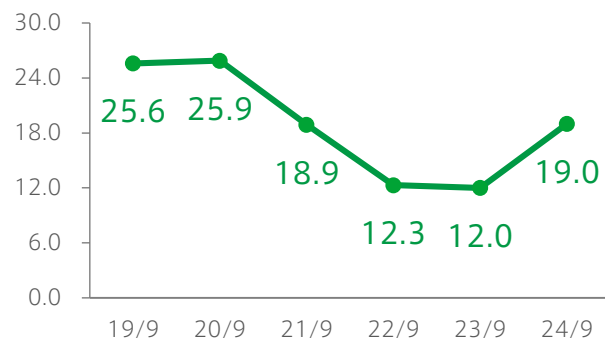
ダイバーシティ&インクルージョン室の新設

多様な背景を持つすべての従業員が、その属性にとらわれることなく自らの能力を発揮できるような環境を推進するために、2024年3月に新設し、2030年までに当社女性役員比率30%以上の目標達成と当社グループ全社での人材育成をさらに推進

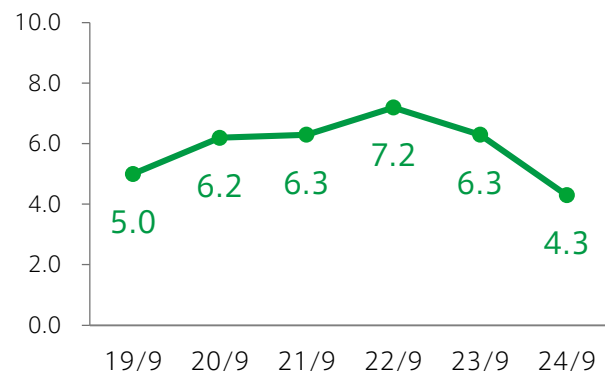
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

PER・ROEの向上へ

PER (倍)



ROE (%)



成長戦略の着実な実行

新規事業開発の加速

グローバル(東南アジア)、リカレント・リスキリング領域、介護周辺事業への積極投資の継続

グループ収益の柱を構築する戦略的M&A

グループのトランスフォーメーションと成長に資するM&Aを戦略的に実施

資本効率向上

ポートフォリオの整理・転換

不採算事業のモニタリング、成長領域へのリソースシフト

資本コストを意識した成長投資、M&A

WACCやIRRを意識した投資判断

株主還元

配当・自社株取得

配当性向30%以上、機動的な自社株取得実施

決算補足資料

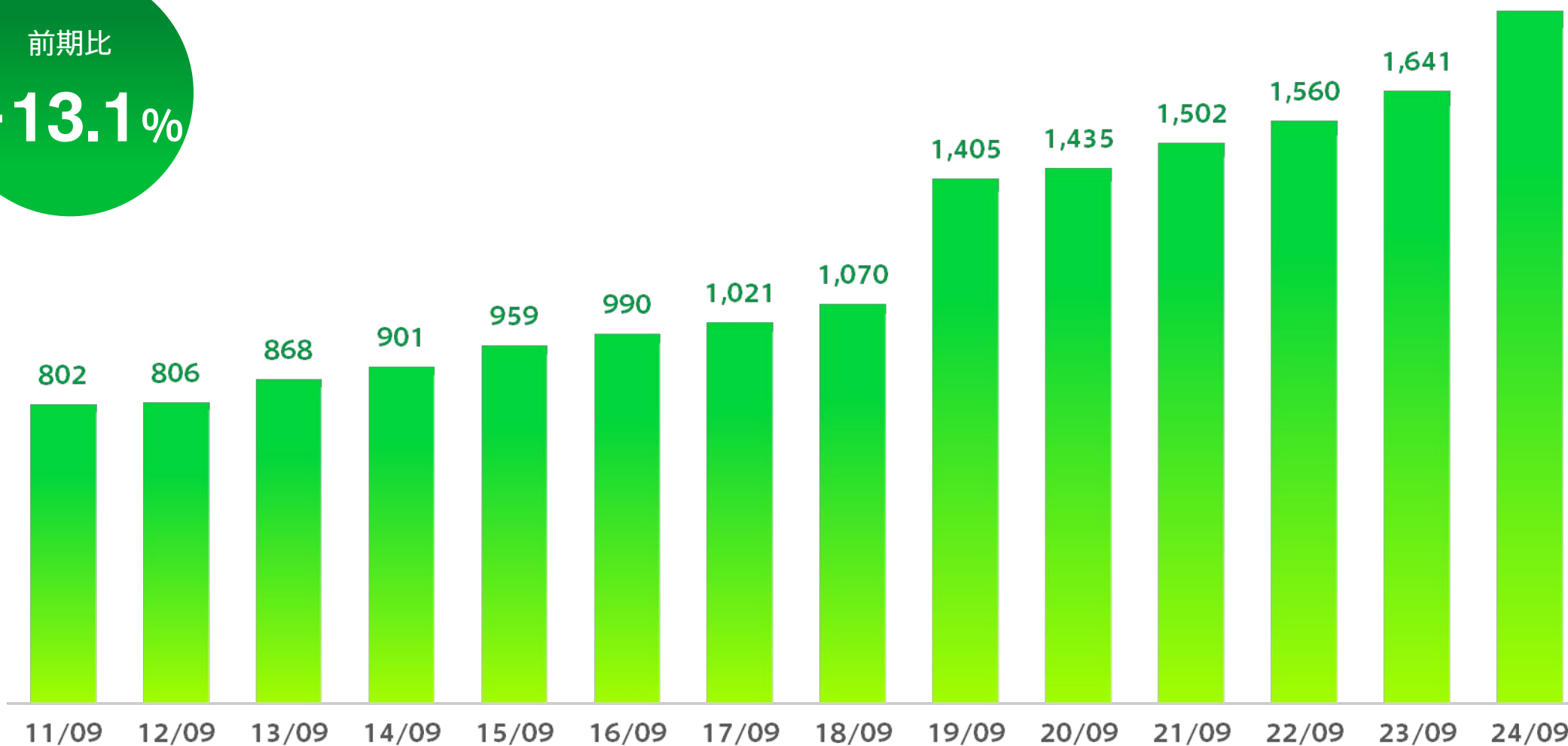
A large, expressive green brushstroke that starts from the bottom left and sweeps upwards and to the right, ending near the top right corner of the slide. It has a textured, painterly appearance with varying shades of green.

通期 売上高 推移

単位：億円

前期比
+13.1%

1,855

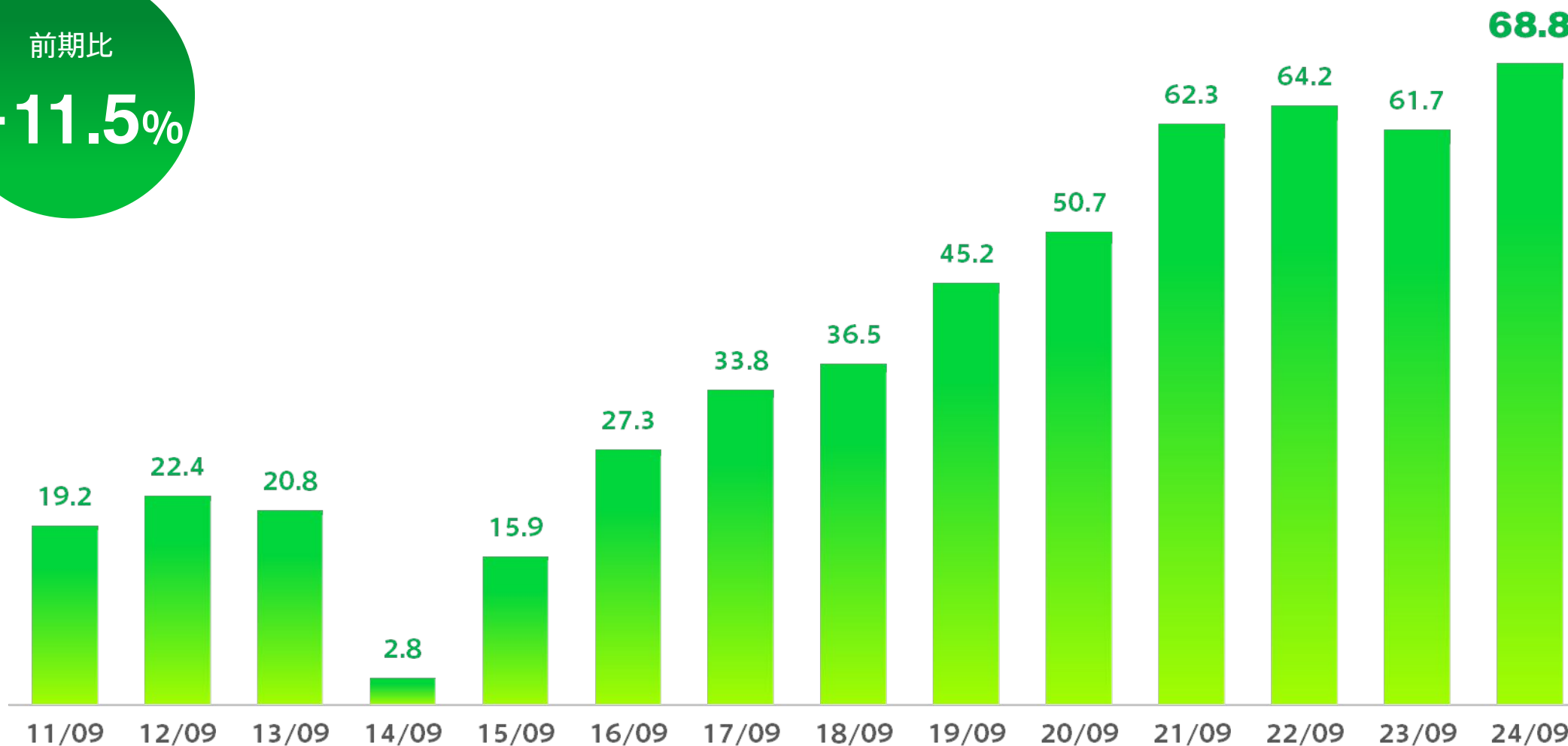


単位未満は切捨て

通期 営業利益 推移

単位：億円

前期比
+11.5%

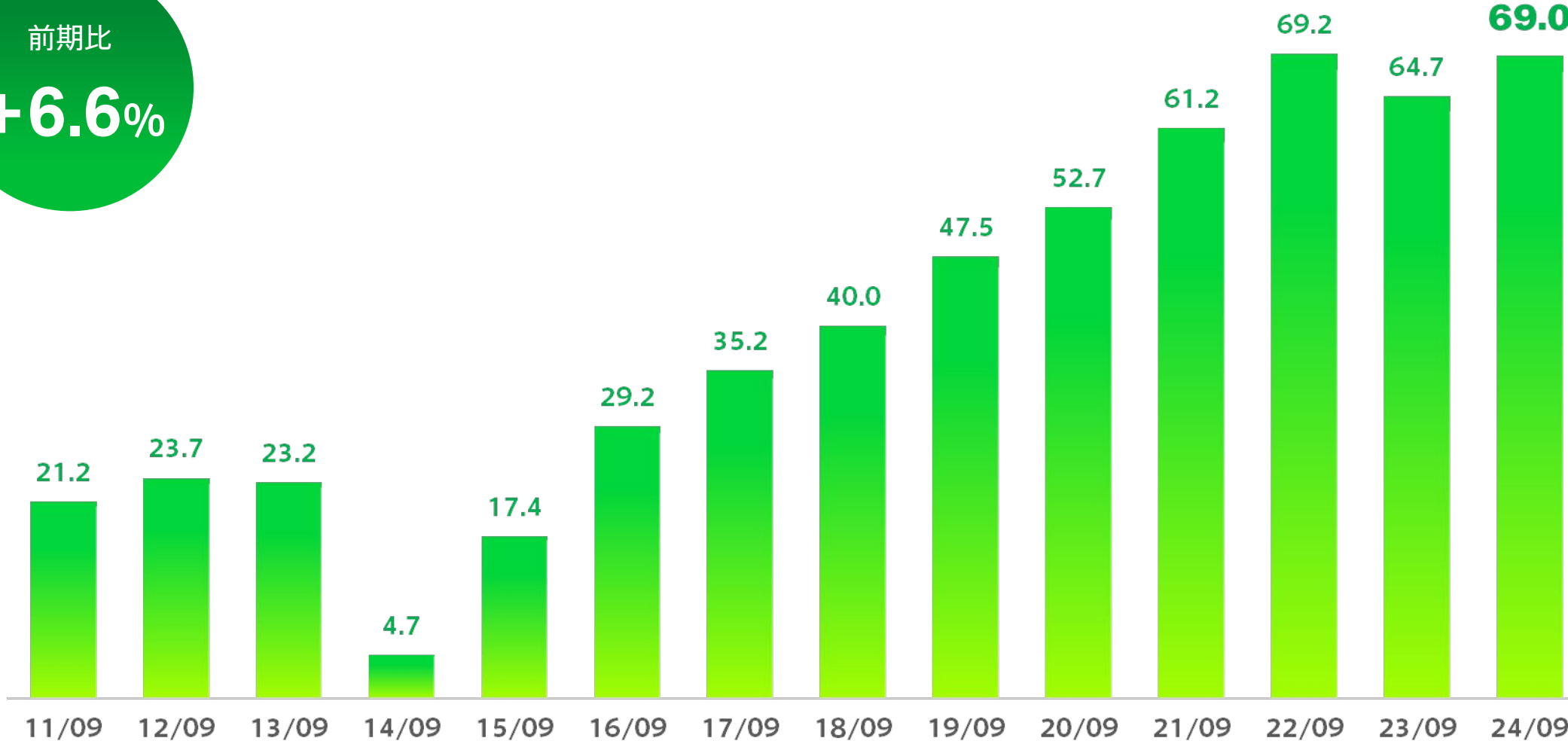


単位未満は切捨て

通期 経常利益 推移

単位：億円

前期比
+6.6%



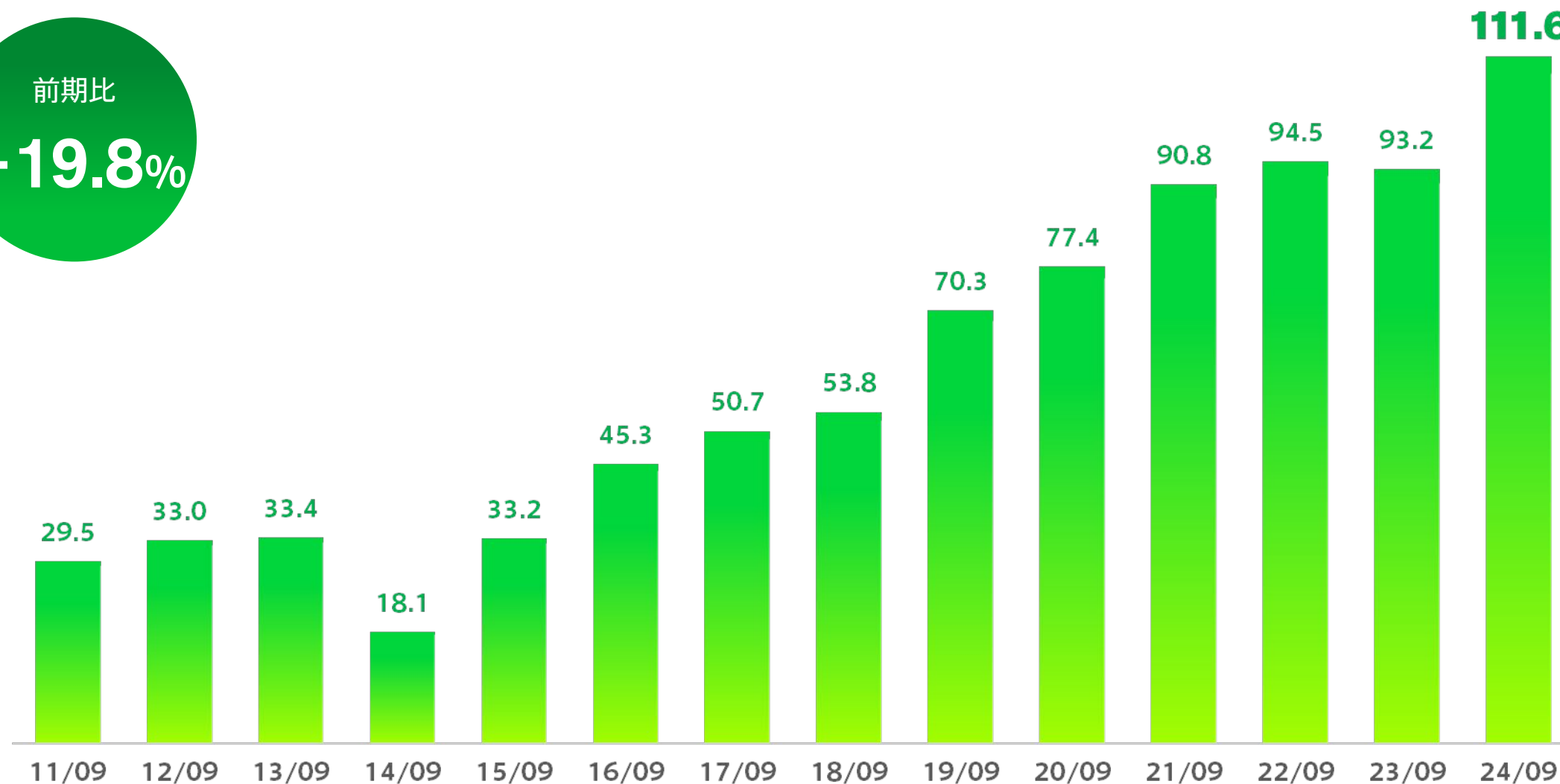
単位未満は切捨て

通期 EBITDA 推移 ※

※営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算

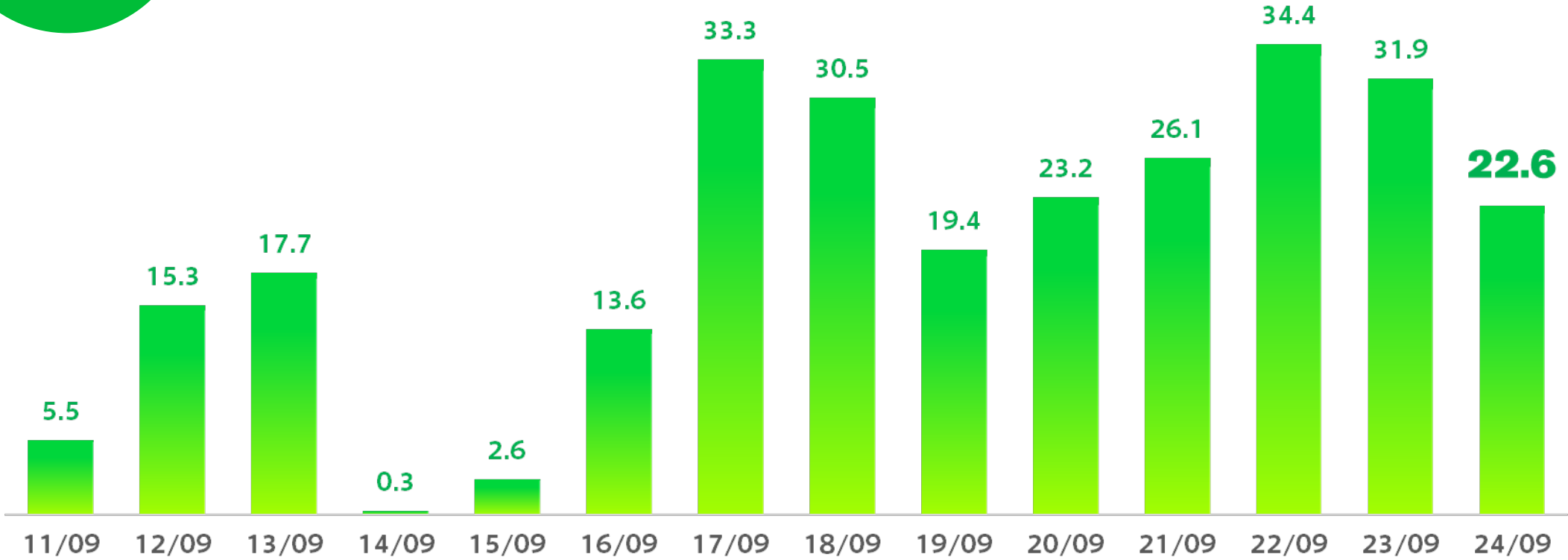
単位：億円

前期比
+19.8%



通期 当期純利益 推移

単位：億円



2024年9月期 セグメント別業績

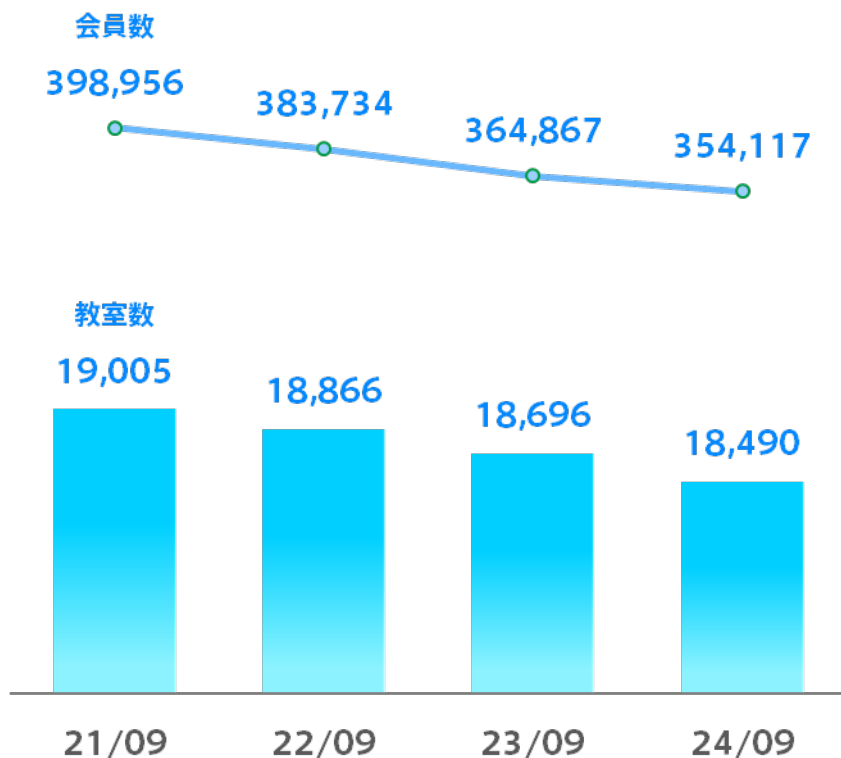
単位：億円

セグメント 事業	2023年9月期 実績		2024年9月期 実績		増減 (対前期)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
教育分野	794.8	39.4	918.8	41.2	+123.9	+1.8
教室・塾	397.4	20.4	528.4	19.5	+131.0	-0.8
出版コンテンツ	272.0	22.9	263.2	21.6	-8.7	-1.2
園・学校	125.3	-1.7	127.0	4.1	+1.7	+5.9
のれん	—	-2.1	—	-4.1	—	-2.0
医療福祉分野	785.8	38.2	875.1	42.0	+89.2	+3.8
高齢者住宅	360.2	18.7	424.9	24.2	+64.7	+5.5
認知症グループホーム	363.3	22.8	379.9	22.4	+16.5	-0.4
子育て支援	62.2	1.3	70.1	1.6	+7.9	+0.3
のれん	—	-4.7	—	-6.3	—	-1.6
その他	60.4	4.0	61.7	5.2	+1.3	+1.2
調整額	—	-19.9	—	-19.7	—	+0.2
グループ合計	1,641.1	61.7	1,855.6	68.8	+214.4	+7.1

教室・塾事業 会員数・教室数

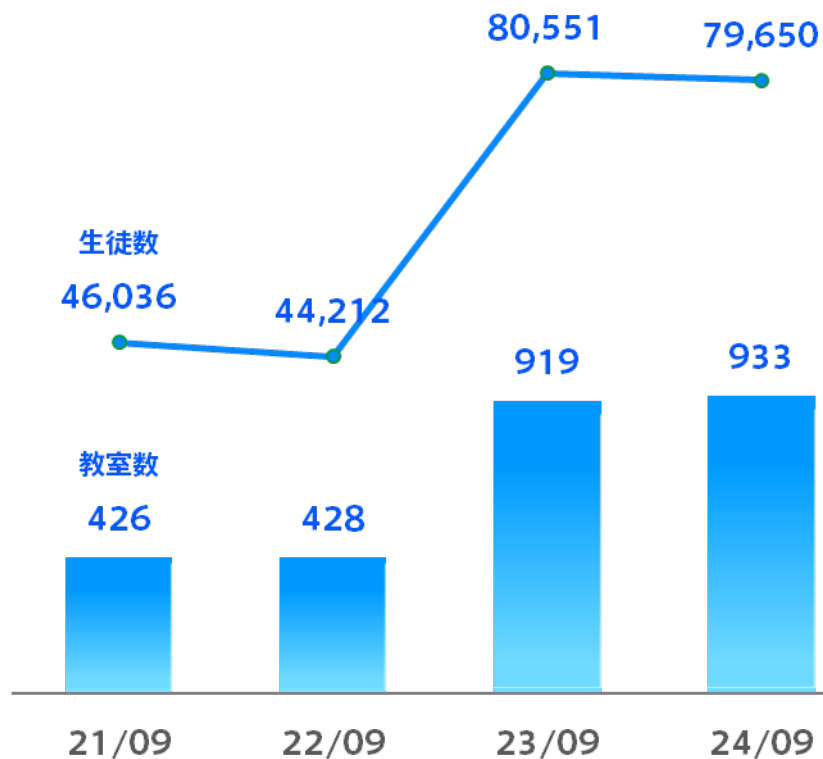
教室事業では、幼稚園設置型やショッピングセンター内教室数が増加し新規会員は回復するも、卒業・退会者も多く会員数は回復途上
塾事業は市進ホールディングスを中心に教室数は増加。塾グループ全体として、生徒数は回復途上

教室



※会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。

塾



※2023年5月に(株)エヌイーホールディングスがグループイン
※2023年7月に(株)市進ホールディングスを連結化

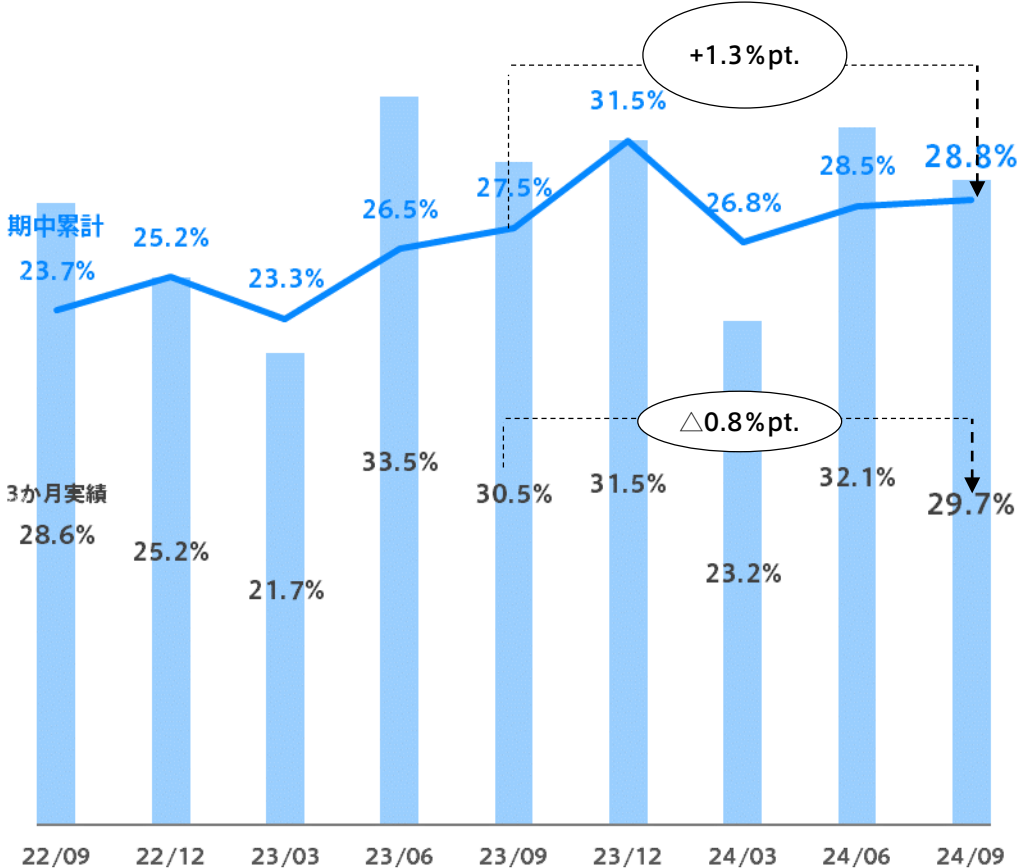
出版事業 書籍新刊点数／返品率*

累計返品率は28.8%で前年同期比+1.3%pt.となるも、第3四半期に続き第4四半期も前年同期比△0.8%pt.改善

書籍新刊点数（期中累計）

	22/9	23/9	24/9
児童書	194	194	236
学習参考書	178	207	199
実用書	187	215	219
ムック	51	47	46
その他書籍	123	170	148
合計	532	833	848

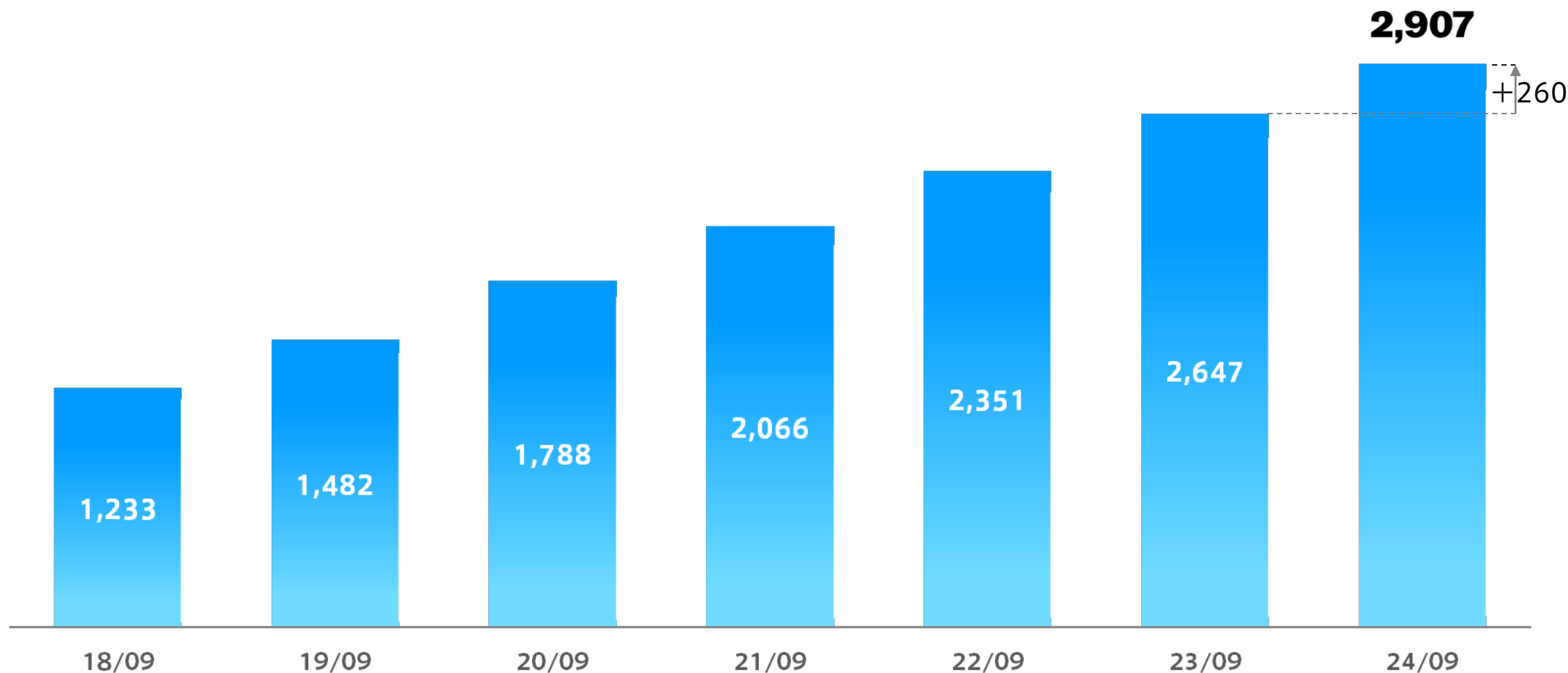
書籍返品率



*書籍（雑誌は含まず）新刊点数及び書籍返品率は、（株）Gakken と（株）地球の歩き方の合算です。

語学・社会人教育事業 看護師eラーニング契約病院数

前年同期比で260病院増加し堅調に拡大中。新年度利用開始により3Q以降で増加

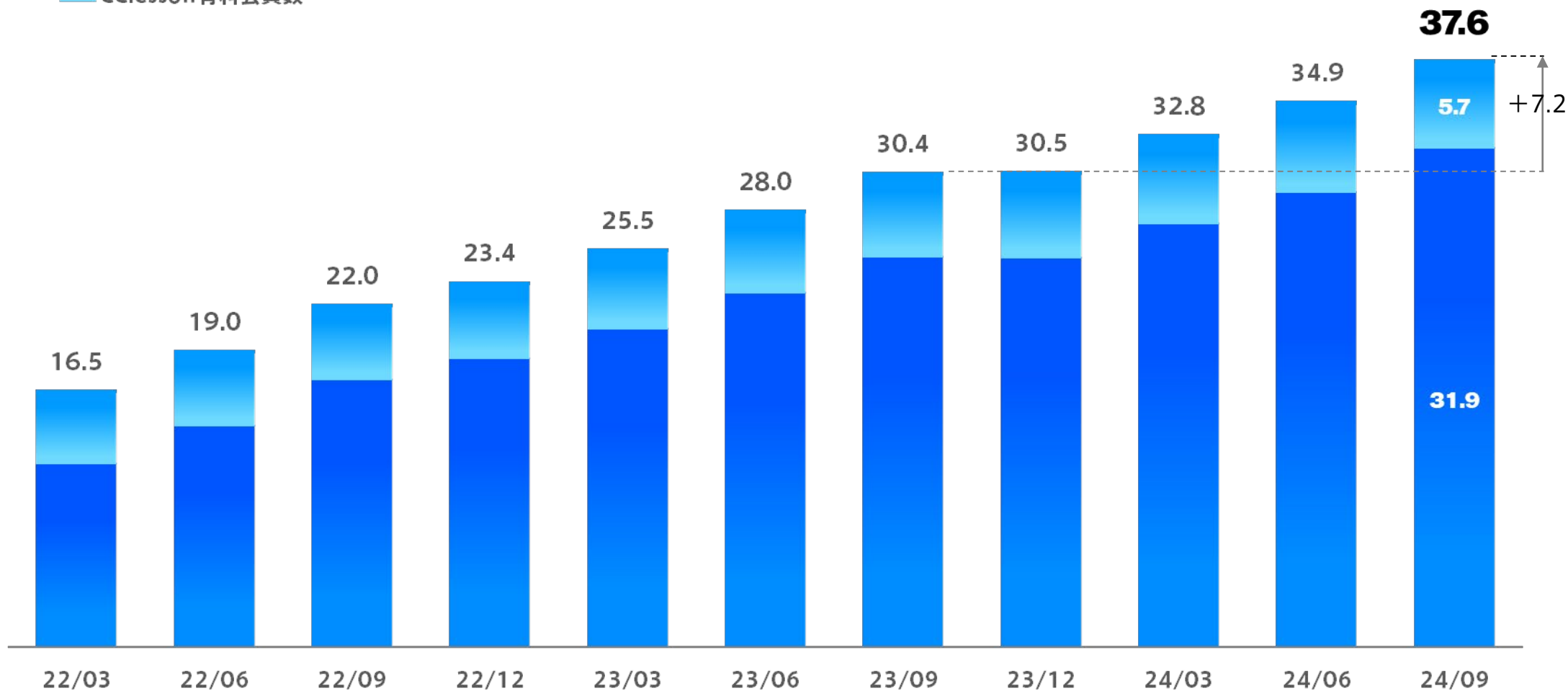


語学・社会人教育事業 語学オンライン会員数

Kiminiの認知度Upに加え、プロモーションが奏功し、英語、中国語ともに登録会員数が順調に推移

単位：1,000名

■ Kimini有料会員数
■ CClesson有料会員数



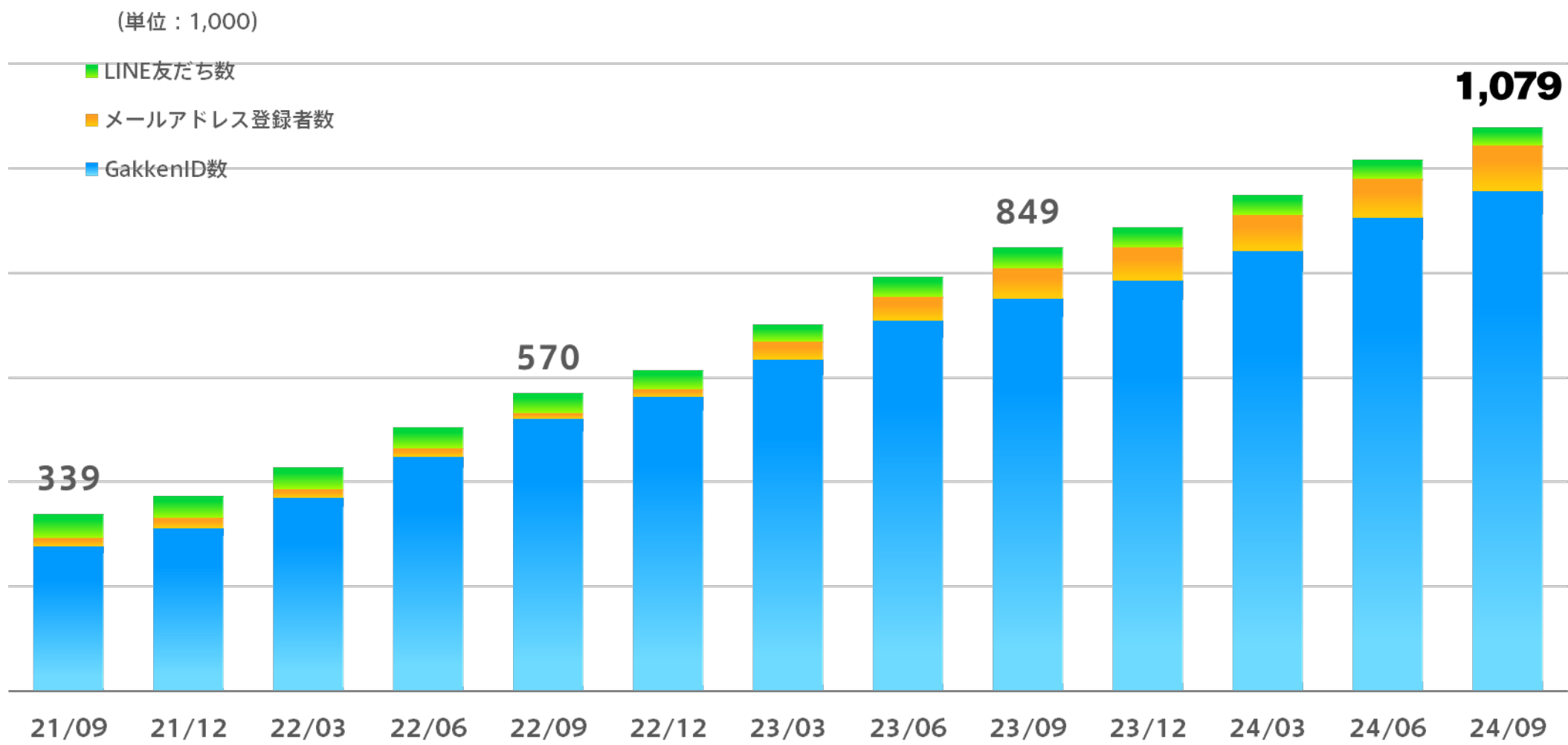
学校事業 教科書改訂スケジュール

△ 検定：文部科学省の調査（教科書としての適正性） ● 採択：所管の教育委員会による教科書の決定 ◎ 使用開始：各学校に供給し、児童生徒へ

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
小学 保健		△	●	◎	
中学 保体	◎		△	●	◎
小学 道德		△	●	◎	
中学 道德	◎		△	●	◎

DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント

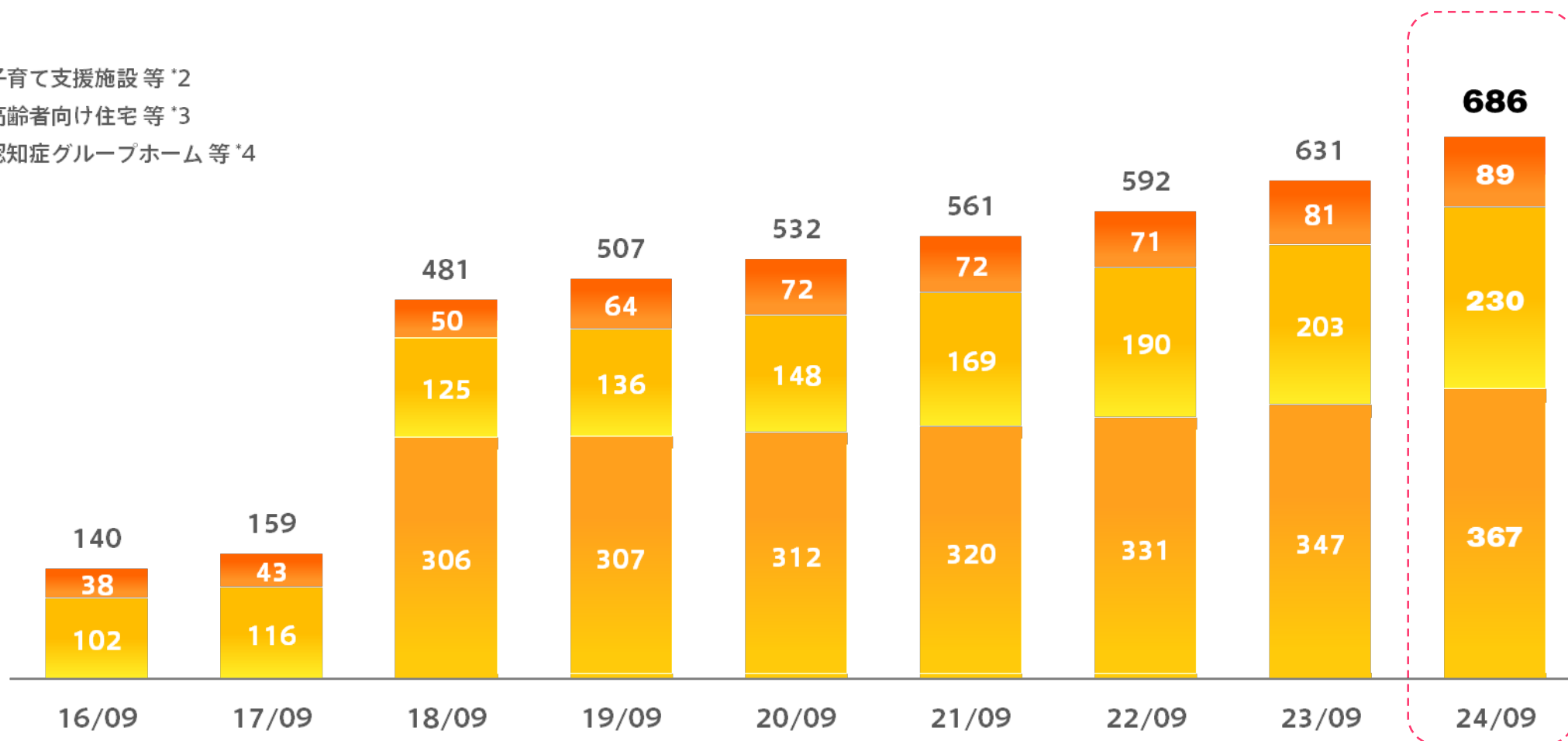
サービス毎のID取得合計数は100万件に到達。サービス間の連携を進め、顧客LTV向上を目指す



医療福祉分野 拠点数推移^{*1}

積極的なM&Aを実施し、施設数を増加中

- 子育て支援施設等^{*2}
- 高齢者向け住宅等^{*3}
- 認知症グループホーム等^{*4}



^{*1} 記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。海外拠点を含み、(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。

^{*2} 保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、学習支援施設の合算。

^{*3} サービス付き高齢者向け住宅の他に、訪問介護ステーションなど他区分拠点を含みます。2023年11月に事業譲受したグランユニライフケアサービス社の拠点は、当第2四半期より合算。

^{*4} 認知症グループホームの他に、特定施設、小規模多機能型居宅介護拠点など他区分施設を含む。

医療福祉分野 開設^{*1}計画と進捗

高齢者住宅と認知症グループホーム合計42拠点開設し、積極的な新規開設ペースを継続
子育て支援施設は学童と児童発達支援施設でそれぞれ5か所開設し、前期実績並みの開発は達成

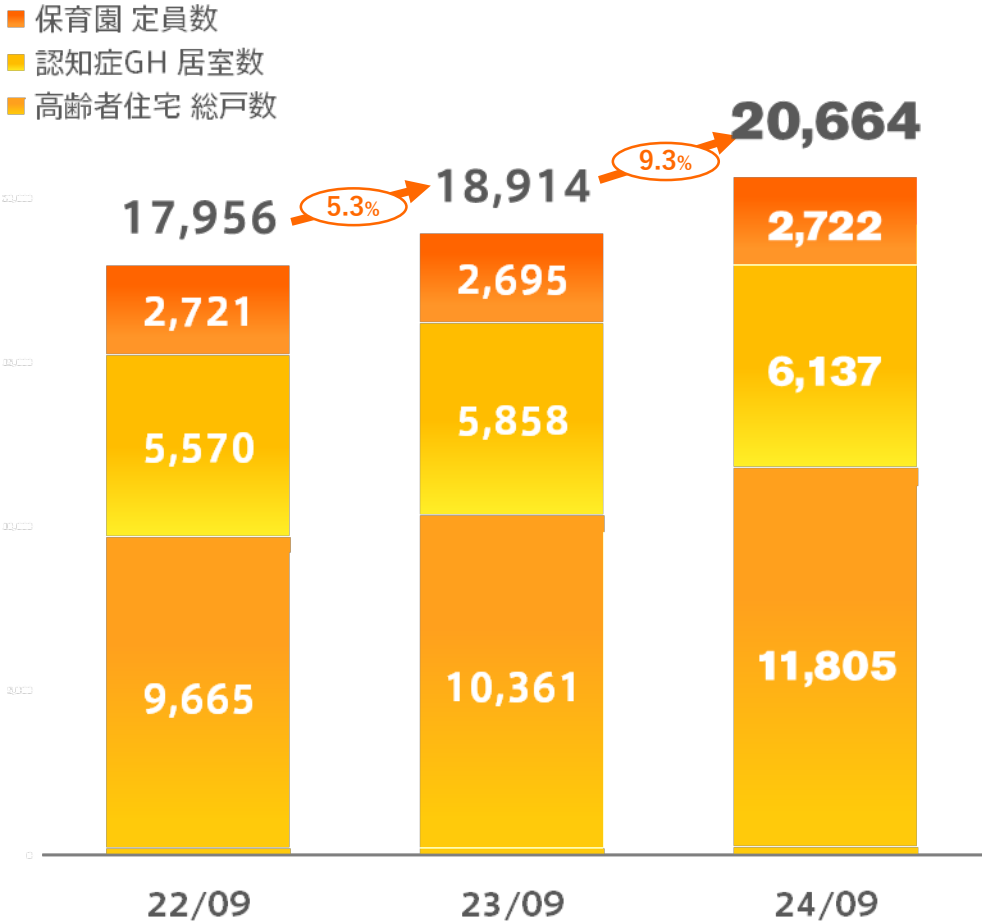
単位：開設数

	2023/9期	2024/9期		
	前期 開設実績	通期 計画	通期 実績	対計画 進捗
高齢者住宅	13	28	27 M & A17件	96.4 %
認知症 グループホーム	15	14	15 M & A5件	107.1 %
子育て支援施設 ^{*2}	10	13	10	76.9 %
合計	38	55	52	94.5%

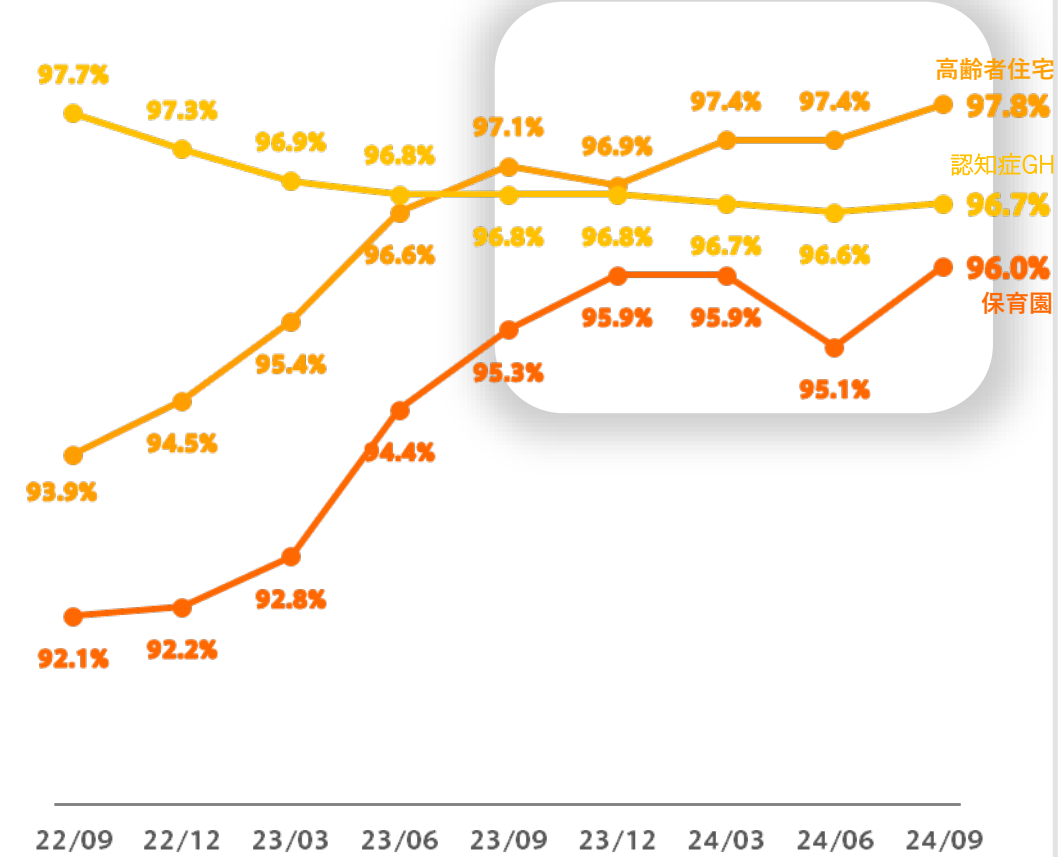
※ 1 国内拠点のみの数値です。同期間の閉鎖数を差し引いておりません。(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。
※ 2 保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、学習支援施設の合算です。

医療福祉分野 キャパシティと稼働状況

総戸数・居室数・定員数推移



入居率・充足率推移



医療福祉分野 入居率・充足率

		21/03	21/09	22/03	22/09	23/03	23/09	24/03	24/09
高齢者住宅	総戸数	7,632	8,308	9,037	9,665	9,980	10,361	11,512	11,805
	入居数	6,985	7,505	8,345	9,073	9,519	10,062	11,210	11,541
	入居率	91.5%	90.3%	92.3%	93.9%	95.4%	97.1%	97.4%	97.8%
認知症 グループホーム	居室数 ^{*1}	5,246	5,372	5,444	5,570	5,687	5,858	5,966	6,137
	入居率	98.0%	97.8%	97.6%	97.7%	96.9%	96.8%	96.7%	96.7%
子育て支援施設	定員数 ^{*2}	2,788	2,661	2,664	2,721	2,721	2,695	2,695	2,722
	園児数	2,389	2,443	2,441	2,505	2,524	2,568	2,585	2,613
	充足率	85.7%	91.8%	91.6%	92.1%	92.8%	95.3%	95.9%	96.0%

*1 認知症グループホームの居室数に他区分施設の居室数は含まれません。

*2 子育て支援施設の定員数は保育所のみです。

今日、いくつ挑戦した？
Gakken

株式会社 学研ホールディングス

本資料には、事業計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。従って、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おき下さい。